

ヲ提出セラレタリ
兩院協議會議長及副議長左ノ適當選セラレタリ
明治三十年度歲入歲出總豫算案

協議會議長

武富時敏君 同 副議長 改野耕三君

特別委員長及理事左ノ適當選セラレタリ
北海道國有未開地處分法案委員長

同理事

特別委員左ノ通り指名セリ
囚徒費用ニ關スル法律案委員

西田忠之君 二位景暢君 大田信一君

守次郎君 小柳卯三郎君 井深幹君

中原爾君 佐伯誠一郎君 池谷繁太郎君

高橋安爾君 民夫君 漆間見藏君

稻葉市郎右衛門君 今西幹一郎君

山本隆太郎君 関戸覺藏君

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

中村彦次君 高橋安爾君 佐伯誠一郎君

守屋此助君 安爾君 民夫君 漆間見藏君

款第五項森林收入、此項ニ就キマシテハ貴族院ノ決議通りニ致シマシタ、ソレカラモウ一つ、歲出經常部ノ農商務省所管第一款ノ第六項、第八項是丈ヲ貴族院ノ修正ヲ經タル通ニナシ、其他貴族院ニ於テ修正致シマシタルコトハ、總テ否決致シマシタ、即チ詳ク申セバ此農商務省ノ建築用材ヲ伐ル、是ニ係ル費用ハ貴族院ノ政府案ニ復活致シマシタ、即チ衆議院ヲ削除サレマシタノガ、貴族院ヲ復活ヲサレタノハ其復活ヲ認メル、其復活ハ認メテ、是ダケハ即チ衆議院ガ貴族院ニ一步ヲ讓ッタ譯ニナリマス、其他貴族院ニ於キマシテハ、總テ否決致シマシタ、即チ詳ク申セバ此農商務省所管ニ於キマシタノ手當ヲ削除シテ回付シマシタノヲ、ソレヲ總テ削除シナイ、即チ原案ノ通ニ衆議院ヲ通過シタル通ニ据置ク、斯様ニナリマシテ、其方ハ貴族院ノ方カラ、衆議院ノ意見ニ譯ニナリマシタ、斯様ニナリマシタニ依テ、詰リ歲入歲出ノ總額ニ於キマシテモ段々狂ヒヲ生ジマス、ソレハ數字ノコトハ口頭デ述ベマシテモ間違ヲ生ジマス、イヅレ報告ノ書面ガ參リマセウト思ヒマスカラ、ワレニ就イテ御承知ヲ願ヒマス、概略斯様ノ所ニ成案ガ纏リマシテ、唯今報告ヲ致シマスルガ、是ハ申スマデモゴザイマセヌガ、是ハ可トスルカ、否トスルカト云フ一途アルノミデアリマシテ、成案ニ對シテ修正ノ動議ハ、議院法ニ於テ禁ジラレテ居リマス、若シ是ガ否決ニナリマスレバ、即チ其結果トシテ三十年度ノ豫算ハ、全體不成立ト爲リマス、此邊ハ申上グルマデモゴザイマセヌケレドモ、チヨット一言ヲ申添ヘテ置キマス、是ガ兩院協議會ノ成案デアリマス、序ニ此演壇ニ登リマシタ序ニ動議ヲ提出致シマス、此兩院協議會ノ本案ヲ議スルタメニ、本日ノ日程ヲ變更シテ、直チニ協議會ノ成案ノ可否ヲ決セラレンコトヲ望ミマス

印旛沼ニ關スル質問書
第八回議會ニ於テ印旛沼疏通開墾ニ關シ三項ヲ舉ケテ及質問候處此事業タル其關係スル所頗フル廣キカ故ニ重々精確ナル調査ヲ遂クルニアラサレハ其利害ノ有無容易ニ判定スヘカラサル旨答辯アリ然ルニ政府ニ於テハ其後該地測量ノ事ニ從ヒ夫々調査ヲ遂ケタル趣ナリ就テハ其調査ノ結果及ヒ利害ノ有無明答アランコトヲ望ム

右議院法第四十八條ニヨリ及質問候也

明治三十年三月十八日

提出者 大須賀庸之助

四宮有信

小倉貞則

贊成者 西村甚右衛門

外三十二名

○議長(鳩山和夫君) 日程變更ニ就イテ採決シヤウト思ヒマス
(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ日程ハ變更サレマシタ、兩院協議會ノ成案ガ議題ト爲タ居リマス

明治三十年度歲入歲出總豫算案(兩院協議會成案)

(左ノ兩院協議會成案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治三十年度歲入歲出總豫算案(兩院協議會成案)

六拾貳錢歲出總額ヲ貳億四千五百九十九萬九千四百八拾貳圓
ム其ノ款項ノ金額ハ別冊甲號歲入豫算歲出豫算ニ據ルヘシ

第一條 明治三十年度ノ歲入總額ヲ貳億四千五百九十九萬九千四百八拾貳圓

六拾貳錢歲出總額ヲ貳億四千五百九十九萬九千四百八拾貳圓

ム其ノ款項ノ金額ハ別冊甲號歲入豫算歲出豫算ニ據ルヘシ

通ニ豫算案ハ貴族院ニ於テ通過セラレルコトヲ望ムト云フ意見モ段々出マシタガ、貴族院ニ於キマシテモ、是マデ種々審議討論ヲ盡シマシテ、是ダケ

ノ修正ヲ加ヘマシタ末デゴザイマスカラ、總テ衆議院ノ意見ニ譯ルト云フコトハ、到底兩院ノ意見ガ合ヒマセヌデ、イヅレカ一步ヅツヲ譯リ合フテ此協

第三款 収入
官業及官有財產 金貳千百貳拾八萬五百九拾八圓參拾四錢壹厘

第四項 森林收入 金百參拾五萬九千七百七拾參圓貳錢貳厘

四一頁

歲入經常部合計金壹億貳千百四拾壹萬貳百四拾五圓五拾參錢九厘

四五頁

歲入總計金貳億四千五拾九萬九千四百八拾貳圓六拾貳錢

甲號

歲出經常部

四九頁

內務本省 金貳拾九萬七千六百五拾貳圓六錢七厘

五〇頁

第七項 雜給及雜費 金參萬五千九百七拾壹圓參拾四錢貳厘

六一頁

內務省所管合計金六百四拾九萬九百八拾參圓拾九錢

八八頁

第二款 林區署 金七拾四萬貳千百拾參圓壹錢五厘

第六項 旅費 金九萬七千百參拾九圓五拾貳錢

九〇頁

第八項 造林及林產物處理費 金貳拾九萬千貳百拾圓八拾六錢七厘

九四頁

第五款 水產調查所 金五萬千四百四拾四圓拾六錢

一〇〇頁

農商務省所管合計金百四拾貳萬四千貳百九拾五圓七拾八錢參厘

一二二頁

第一款 馬匹調查費 金壹萬貳千八拾九圓貳拾參錢

一二三頁

第三項 雜給及雜費 金七千六百七拾四圓七拾五錢

一二四頁

第四款 外國貿易擴張費 金六萬圓

一二五頁

第一項 外國貿易擴張費 金六萬圓

一三〇頁

農商務省所管合計金貳百拾貳萬貳千九拾九圓拾九錢六厘

一三一頁

歲出臨時部合計金壹億貳千八百貳拾參萬貳千八百八拾八圓七拾參錢五厘

○藤金作君(五十五番) チヨヅト質問ヲ致シマス、唯今協議會ノ結果ヲ武富君

カラ御報道ニナリマシタ、歲入歲出ニ於テ關係ヲ生ジマス農商務省ノ官行事

業ノ復活デゴザイマスガ、之ニ對シテ協議會ノ御研究ニ依リテ、此衆議院ガ官行事業ヲ非ト認メテ否決シテ所ノ理由ト、貴族院ニ於テ是非復活ヲシナケレバナラズ、貴族院ノ議大イニ是ニ優ル理由ガアハ貴族院ノ決議ニ譲ラナケレバナラヌト云フ所ノ大イニ是ニ優ル理由ガア

ヲウト存シマス、其事實ニ就イテ、貴族院ト衆議院ト御協議ヲ爲サレタ所ノ

理由ニ就イテ、詳細ナル説明ヲ承リタイ
○武富時敏君(二百二十一番) 御答致シマスガ、衆議院ハ衆議院ノ意見ヲ削除ヲ致シマシテ、貴族院ハ貴族院ノ見ル所ヲ以テ復活ヲ致シマシタ、其意見ヲ互ニ鬭シテ居リマスレバ、詰リ兩院ノ意見ガ一致スル場合ニ至リマセヌ、ソレ故ニ互ニ一步ツ、讓合ツテ、此兩院ノ協議會ノ成案ト云フモノガ成立ツタヌデアリマスカラ、隨分官行事業ノコトニ就イテハ議論モゴザイマシタガ、衆議院ハ削ルト云フ理由ヲ認メテ削リ、貴族院ハ復活シタ方ガ國家ノ利益ト見テ復活シタ、其議論ハ茲ニ詳細ニ御話スル必要ナカラウト思ヒマス、互ニ讓合ツタ結果ガ、此成案ニナクタト御承知ヲ下スツタラ宣カラウ

○中村彌六君(百四十七番) 唯今武富君ノ御報告ニナリマシタ兩院ノ協議會ノ結果ニ贊成スルノデゴザイマス、贊成スルニ就イテ一言政府ニ注意ヲ促シテ置キタイト思ヒマス、是ハ他デゴザイマセヌ、先般來カラ時々申シマシタ如クニシテ、此山林原野ノ國家ノ財産ハ、之ヲ金額ニ積リマシテ八億三千有餘万圓ノモノデゴザイマス、而シテ今日迄是ガ當局者ガ得タル所ハ、續々犯

罪人ヲ出ス外效能ハナイ、而シテ官行事業ニ就キマシテノ弊ハ改テ申スマデモナクシテ、唯此局ニ當ツテ居ル所ノ小部分ノ小役人ナドガ、我功績ヲ舉ゲント欲シテ徒ニ濫伐ヲ致スノデアル、例ヘバ千本伐ル所ハ、自身ガ監督者ニアリ、監視者デアツタ同時ニ、是ニ伐採ヲ致シマスガ故ニ、監督者ナキ所ノ

事業ヲ致シタ、是ガダメニ官行事業ニ依リテ山林ヲ荒スト云フコトハ、私ガ今申サズトモ、現ニ青森地方ニ於テ、陸續小林區ニ於テ犯罪人ヲ出シテ、役人ヲ縛ラナケレバナラヌト云フコトガアツクノハ、大概森林ニ眼ヲ著ケテ居

ルモノハ知ツテ居リマス、今日此官行事業ヲ削リマシタ所以ハ、今日ノ如キ農商務省ニ任カンシタナラバ、一方ニハドノ様ノコトヲシデカスカト、云フコト木デ渡シテ、其得ル所ノ諸官省ニ於テ、適當ノ地元人民ハ其者ニ任カシテヤラシタガ、官行事業ニ致サズトモ、即チ公共事業ノタメニハ、特賣ヲスルト云

フコトハアルニ依リテ、適當デアルナラバ、左程陸軍ヲ遞信省デモ要ル木材ガゴザイマシタナラバ、確カ二百六十万本ト云フ、是ハソレシテ適當ノ立

木デ渡シテ、其得ル所ノ諸官省ニ於テ、適當ノ地元人民ハ其者ニ任カシテヤラシタガ、官行事業ニ致サズトモ、即チ復活シテ政府案通ト云フコトデアル、ソレニモ拘ラズ、シタ方ガ弊害ガナク、監督モ能ク行屆クト云フコトデアル、此コトヲ以テ徒ニ

豫算不成立ト云フコトヲサセルハ、國家ニ對シテ不利益ノコト、考ヘマスカラ、即チ協議會ノ結果ヲ贊成スルノデゴザイマスガ、唯希クハ政府ニ於テ從

來ノ如キ官行事業ト云フコトヲサセナイト云フコトヲ十分考ヘラレテ員モ先般建議案ヲ出シタガ、是モ不日政府ニ呈スルデゴザイマセウガ、免ニ

角是ノミナラズ、現ニ斯ノ如キ次第ゴザイマスルガ故ニ、此政府案ガ通ルト共ニ、政府ハ大ニ農商務省ニ於テ大革新ヲ行フト云フコトヲ私ハ希望シ、其革新ヲ行フト云フコトヲ豫想シテ、豫期シテ此案ヲ贊成スルノデア

リマス、左様御承知下サイ

○議長(鳩山和夫君) 他ニ御議論ガナケレバ採決シマス、兩院協議會ノ成案ヲ可トスル議君ノ起立ヲ求メマス

多數起立者

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス
○谷河尙忠君(三十三番) 是ヨリ北海道國有未開地處分法案ノ委員會ヲ開クニ就キマシテ、退席シタウゴザイマス
○議長(鳩山和夫君) 谷河君カラ退席シテ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、許シテ宜シウゴザイマスカ
○議長(鳩山和夫君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 許スコトニ致シマス

○元田肇君(百二十番) 百十二番ハ茲ニ緊急動議ヲ起シマセウト思フノデゴザリマス、其前ニチヨット講長マデ願置キマスルガ、國務大臣モ御一人ノヤウデゴザイマスガ、本員ノ質問ニ日獨條約ノ質問ハ今日ニ至ツテモ御返答ガアリマセヌカラ、御催促下サルヤウニチヨット願置キマス

○議長(鳩山和夫君) 承知致シマシ

○元田肇君(百十二番) ソレカラ唯今議事日程ヲ變更シテ、直チニ議セラレタイト云フ緊急動議ヲ提シマスルノハ外デハゴザイマセヌガ、唯今モ既ニ兩院協議會ノ趣ガ成立シタト云フコトデゴザイマシテカラニ、他ノ豫算ニ就キマシテハ目出度濟ンダト云フ譯デアリマスガ、獨リ此臺灣ノ總督府ニ關係致マシタ所ノ豫算ニ就キマシテハ後レテ出テ來マシテ、其間ニ又編制ノ仕方等ニ議論モ起リマシテ、今日マデ本會ニ付スルコトガ出來テ居リマセヌノデアリマス、然ルニ是モ既ニ豫算委員會ヲ通過シテ、殊ニ此臺灣總督府ノ豫算ニ就キマシテハ主査會ニ於テ綿密ナル上ニ綿密ニ御調ニナツテ、サウシテ十分ノ修正ヲ加ヘテ豫算會ニ提出シ、豫算會ニ於テモ又之ヲ是認致シマシテ、本會ニ御報告ニ及ンダ次第アリマスノニ、日ヲ數ヘマスレバ僅ノ會期デ、上下兩院デ議スルコトガ出來ナイ位ニ迫ツテ居リマスカラ、茲ニ緊急動議トシテ議事日程ヲ變更シテ、直チニ今日ニ第一ニ此臺灣總督府ニ關係シマシタ豫算ヲ議セラル、ヤウニ致シタイト考ヘマス

○元田肇君(百十二番) 臺灣總督府ニ關スル豫算ヲ議スルタメニ、日程ヲ變更スルト云フ動議ガアリマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナイト認メマスカラ、日程ハ變更セラレマシ

○議長(鳩山和夫君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○元田肇君(百十二番) 就キマシテハチヨット御報告ハ既ニ濟ンダノデアリマスガ、念ノタメニ申述ベテ置キマスルノハ、特追第二号ニ於キマシテハ第二款第一項——歲出カラ申上ゲマスガ、歲出經常部第一款第一項ヨリ第十二項マテハ澤山ノ修正ガアリマス、ソレカラシテ歲出臨時部ノ第一款第七項、第八項、第三款ノ第一項、是ダケガ、修正ニナツテ居リマスルガ、此歲出部ニ於テ稍々本會ノ御疑念ニナラウカト思フ一箇條ヲ申上ゲテ置キマスガ、移民費ト云フ一條ヲ削ツタノデアリマス、臺灣ニ人民ヲ移スト云フ費用ハ補助費カ何カノヤウニナルノデアリマセウ、之ヲ削ツタ云フ理由ハ、本會ニ於テ隨分疑問ヲ起スデアラウト思ヒマスカラ、一言委員會ノ經過ヲ申述ベマスガ、此移民費ニ就キマシテハ政府ノ段々答ヘラル、所ヲ以テシマスルト、移民ヲスル積デアルケレドモ、臺灣ノ施政上ノコトニ就キマシテハ本年、即チ此三

十一年度デアリマスルガ、三十一年度ニ此費用ヲ出シタ所デ、政府ガ十分ニ之ヲ執行シ得ルヤ否ヤト云フコトハ、委員會竝ニ主査會ニ於キマシテモ爲シ得ルト云フコトノ信任ヲ得ルコトガ出來ナイ、テ、十分ニ之ヲ執行スルコトガ出來得ラレナイト云フコトノ事實ヲ發見シタ以上ハ、移民ハ固ヨリシナケレバナラナイ、委員ノ皆希望スル所デアルケレドモ、無益ナ費用ヲ据置ク必要ハナイト云フノデ、本年度ハ之ヲ削除スルト云フコトニ至ツタノデアリマス、其他ノコトハ別段ニ御質問ノ起ル程ノコトハアリマスマイ、詰リ臺灣ノ特別會計ノ上ニ於キマレテ費用ヲ削リマシタ所ハ、凡ソ六十三万圓内外ニナツテ居ルノデアリマス、願クハ此豫算ニ就キマシテハ先刻申上グマス通、主査會ニ於テモ十數日間質問ニ質問ヲ重ネ、討議ニ討議ヲ重ネテヤツタノデアリマスカラ、主査會竝ニ豫算委員會ヲ御信用ニナツテ速ニ決議アランコトヲ希望致シマス

○議長(鳩山和夫君) 「贊成々々」ト呼フ者アリ

○藤金作君(五十五番) 唯今ハ歲出ノ方カラデスカ、歲入モ共ニデスカ

(總追第二號)明治三十年度歲入歲出總豫算追加案
(特追第二號)明治三十年度各特別會計歲入歲出豫算追加案
(特追第二號所屬)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナス

ヲ要スルモノ

○議長(鳩山和夫君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○藤金作君(五十五番) 岁入歲出併テ議題ニ上ボリマスレバ、當局者ニ一應質問ヲ致シタイ、臺灣ノ歲入ハ八百十二万二千二百六十四圓九十一錢デゴザイマスガ、此内重ナル歲入ハ阿片ノ歲入ニシテ、四百二十三万九千二百八十八圓デゴザイマス、之ヲ引キマスト云フト、臺灣ニ於テ經常ノ真正ナル歲入ハ僅ニ三百八十八万二千九百八十四圓九十一錢デゴザイマス、然ルニ臺灣ハ今

ヤ諸般ノ計畫ニ就イテ國庫ヨリ歲出スル所ノ總額ガ、殆ド二千五百万圓ト云フ金額ニナツテ居リマスルガ、此臺灣ノ獨立ヲ圖ルト云フコトハ曾テ總理大臣モ演説セラレテ居リマスルガ、此歲入中ニ於テ、將來如何ナル政府ハ計畫ヲ以テ、今ヨリ十箇年ノ中ニハ臺灣ノ獨立經濟ガ出來得ラレント云フコトノ御認メガ大イニアラウト思ヒマス、就イテハ重ナル歲入ノ科目ニ就イテ、地租ハ斯クニノ意見ヲ以テ凡ソ將來ニハ此位ノ歲入ハ目的ヲ立て、居ルノデアル、又何々ニ就イテハ斯様デアル、阿片ノ如キハ將來此稅額ハ廢スルノデアル、而シテ政府ガ執ル所ノ目的ハ斯様ナ方法デアル、斯ウ云フコトヲ詳細ニ説明アランコトヲ希望致シマスル、尙ホ質問ト共ニ一言述べテ置キタイハ、唯歲出ヲ求メラル、コトハ斯ノ如ク盛ニシテ、歲入ノコトニ於テハ甚ダ不親切ナコトデアルト云フ考ガアルノデアル、今創業ノ際ニ舊慣ヲ破ツテ直チニドウスルト云フコトハ、本員固ヨリ希望セヌコトデアリマスガ、然レドモ臺灣ノ獨立ヲ圖ルニ就イテハ、此歲入ノ點ニ於テ大イニ政府ハ今ヨリ目的ヲ立テ、徐々ト計畫スル所ガアルニ相違ナイトハ信ジマスケレドモ、一向ハツキリシタ答辯ガ豫算分科會デモアツテ居ラナイ、就イテハ此際委ク説明ナサル限御答辯アランコトヲ希望致シマス

(政府委員臺灣總督府民政局長水野邊君演壇ニ登ル)
○政府委員(水野邊君) 藤君ニ御答致シマスルガ、臺灣ノ歳入ニ就イテ將來ノ目的ヲ御答辯申セト云フコトデゴザイマスガ、實ハ漸ク此頃土匪モ稍々鎮定ニ趣イタ位デゴザイマシテ、二十九年度ヨリ初テ民政ヲ施行シテ、ソレマデハ軍政中テアツテ、萬事民政ノ方ハ後ト回シニナシテ居マシタ形デアルノミナラズ、事情ガ許シマセヌノデ、色々ノ調査ガ出來マセヌ、昨年所謂、二十九年度ノ六月頃ヨリ段々其調査ヲ致シマシテ、漸ク此豫算編制ノ時頃ニ至ツテ略々調査ガ結了致シタ位ガ臺灣其當時ノ狀況デゴザイマスルデ、將來地租ハドウ致ス、茶稅ハドウスル、糖業稅ハドウスルト云フコトノ御答ハ、未ダ今日其時期ニ達シテ居リマセヌデ、本員ヨリ御答ハ致シ兼ネマス、併シ調査ガ結了致シマシテ、ソレカラ其狀況ニ應シテ御説ノ通り、十年若クハ二十年以後ノ計畫ヲ致スコトハ總督府ハ息ヲ又積リデアリマス、唯調査中若クハ調查ガ不十分ト云フコトダケデハ御満足モゴザイマスマイケレドモ、一二ノ點ヲ申上ゲテ御参考ニ供シマスガ、第一地租デゴザイマス、地租モ漸ク唯今デ取終ツタ場所モアルシ、漸クマダ取リツ、アル場所モアルヤウナコトデス、其地所モ二十八年度ハ地租ヲ免除致シマシタ、二十九年度ニ於テ始メテ臺灣人民ヨリ我政府ハ地租ヲ徵收致シマシタ、其徵收ヲ致スニ就キマシテモ、臺灣ソレ故ニ唯古イ書面ニ就イテ殆ド八十万圓位ハ地租ガアルト云フコ帳モナケレバ何モナイ、ナインデハゴザリマゼヌ、以前ハアリマシタケレドモ、兵亂ノタメニ散逸シテシマヒマシテ、漸ク臺灣ノ中デ新竹支廳所轄内、及臺南縣ノ内ノ一部分ガ臺帳ガアルダケデゴザリマス、其外ハ臺帳モナイ、シ、ソレカラ内地デ申セバ納稅告知書ト申スヤウナモノヲ、其土地所有者ト認ムルモノニ配リマシタ、殊ニ地券ヲ持ッテ居ル者ハ地券モ添へ、及支那トガ分シテ居ツタ、ソレ故ニ當年ハ地租ヲ徵收スルニ就イテハ非常ナ煩雜ナ手數ヲ致シタ、村長ノヤウナルモノヲ召集致シマシテ、段々其話ヲ致シ聽カシ、ソレカラ内地デ申セバ納稅告知書ト申スヤウナモノヲ、其土地所有者トルト云フヤウナ場所モゴザイマス、又或場所デハ前以テ人民ヨリ、私ノ田地政府ノ時代ニ納メタ時ノ地租ノ領收證書ヲ添ヘテ、サウシテ納稅告知書ノ通ノ金ヲ以テ地租ヲ取ル場所へ來イ、ソレヲ持ッテ來タノデ始テ地租臺帳ガ出来ルト云フヤウナ場所モゴザイマス、又或場所デハ前以テ人民ヨリ、私ノ田地ハドレダケデアル、此稅額ハドレダケデアルト云フコトヲ告知ヲサセテ置イテ、サウシテ納稅告知書ヲ出シテ徵收シタ場所モゴザイマス、併ナガラ人民ノ言ツタバカリデハ嘘ガアルカモ知レマセヌ、故ニ矢張舊政府時代ノ領收書ヲ持ツテ來ル、然ラザレバ其地券ヤウナモノヲ持ツテ來ルト云フコトデ、租稅ヲ徵收スルト地租臺帳ヲ持ヘルト云フヤウナ有様デアリマシテ、地租ハ右ノ次第ノ困難ヲ致シテ居リマス、當年先づ取終ツテ見タナラバ、ドレダケガ實際申傳ノ通取レル、或ハサウデナイカト云フコトモ判然分ルヤウナ都合デゴザイマス、又茶稅ト云フモノモ唯今ヨリ漸ク取始メル位ノコトデ、昨年ハ取ツテアリマセヌ、糖業稅ハ昨年ノ二月三月頃ヨリ取始メテ居リマス、是ハ製造稅デゴザイマス、故ニ其產出額ト正比例デ取りマス、唯此上ニハ稅額ヲ増ストカ増サヌトカ云フ問題デアル、又樟腦稅モ凡ソノ豫算ヲ立テルトキニハ淡水若クハ安平ヨリ輸出致シマシタ額ヲ押ヘ、ソレニ十圓ヲ乘シテ豫算ガ立テ、ゴザリマス、然ルニ樟腦稅ハ豫算ヨリ餘計取レサウデス、唯今デ四十万圓以上ニ上ツテ居ル有様テゴザイマス、是等モ當年若クハモウ一年取ツテ見マシテ、從ツテ山林ノ方ノ調査モ出來テ參リマスルト、相俟シテ餘リ濫

造ニモナラヌヤウニシテ、適當ノ所ノ稅額ヲ定メルコトモ出來ヤウト存ジマス、ザット申シマスト右ノ次第ゴザイマス、故ニ甚ダ殘念ナガラ十年迄ノ計畫ハマダ此處デ明言致スコトモ出來マセヌ、唯今申上グタ狀況ヲ以テ御諒察アランコトヲ希望致シマス

○藤金作君(五十五番) 唯今御答ガゴザイマシタガ、モウ一ツ御尋致シテ置キタイ(「採決」ト呼フ者アリ)官有ノ土地或ハ森林ノ木材、或ハ樟腦ノ製造則チ將來斯ノ如キモノヲ拂下ゲル所ノ方法ニ就イテ一通り御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(臺灣總督府民政局長水野遵君演壇ニ登ル)
〔政府委員臺灣總督府民政局長水野遵君演壇ニ登ル〕
出シテアルモノモゴザイマス、第一早ク取締ランナラヌ場所、則チ樟腦製造
所ノ點ニ就イテハ、支那政府ノ時ヨリ權利ヲ持ツテ居ツタ者ガ其證書ヲ出シ、
政府ニ於テ適當ト認メタモノハ、三年ノ間製造業ヲ許シテアリマス、ソレカ
ラ官林原野ト云フモノハ唯今調査中デ、ドレダケト云フコトハマダ御答致ス
コトガ出来マセヌ

○議長（鳩山和夫君）採決致シマス、總追第二號、特追第一號、所屬豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スルモノ、同時ニ採決シテ宜ウゴザリマスカ

○議長（鳩山和夫君）委員會ニ於ケル修正ガアル分ハ修正、其他ハ原案ニ御異議アリマセヌカ

○議長（鳩山和夫君）其通り可決致シマシタ
○大竹貫一君（七十四番）罹災救助基金法案ノ委員會ヲ開キタクゴザリマス

○議長(鳩山和夫君) 諸君御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○元田鷹君(百十二番)　百十二番　歌詞意匠ノ商標登録申請者牛期間ニ關ス
ル法律案ノ委員會ヲ開キマス
○議長(鳩山和夫君)　諸君ニ御異議ナケレバ許スコトニ致シマス

○藤金作君(異譲アキム)〔五十五番〕 山林行政ノ機關ヲ地方廳ニ置クノ建議
員會ヲ開キマス
○議長(鷗山和夫君) 藤金作君ノ求モ許シテ宜ウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長（鳩山和夫君） 許スコトニ致シマス——諸君ニ御誥リ致シマスガ、鐵道敷設法中改正法律案ニ就キマシテ、貴族院ハ之ヲ原案ニ復活シテ回付ニナッ

テ居リマス、日程ヲ變更シテ此際ニ貴族院ノ修正ニ同意セラル、ヤ否ヤト云
フコトヲ御定メニナシテハ如何カト思ヒマス（「反對」ト呼フ者アリ）日程變更
ニ御異議アリマセヌカ

○草刈親明君(百四十四番)チヨト分リマセヌデシタガ、何ノ案デス
○議長(鳩山和夫君)鐵道敷設法中改正案、八王子、神奈川間ノ鐵道デス

○早川龍介君(二百四十一番) 官設ニスルト云フノデスカ
○議長(鳩山和夫君) 政府ノ原案通ニシテ戻ツテ來タノデス 御異議ガナ
ケレバ日程ハ變更セラレタルモノト認メテ宜ウゴザイマスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 日程ハ變更セラレマシタ、朗讀セシメマス

鐵道敷設法中改正法律案(貴族院回付)

(町田書記官朗讀)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條中央線ノ次ニ左ノ線路ヲ加フ

中央線及東海線ノ連絡線

一 神奈川縣下神奈川ヨリ東京府下八王子ニ至ル鐵道

第七條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

一 神奈川縣下神奈川ヨリ東京府下八王子ニ至ル鐵道

○草刈親明君(百四十四番) 私ハ此案ハ同意スルコトガ出來ナイト思ヒマス
利害得失ハ第一ニ措キマシテ、貴族院が從來爲ス所ノ行爲ヲ觀察スルニ、
下院ト云フモノハ、少モ眼中ニ置カヌト斷言シテ宜カラウト思ヒマス、本案
ノ如キハ互ニ利害得失ノ見解ヲ異ニシテ居ルト申セバ申スモノハ、彼レ貴族

院ガ常ニ爲ス所ヲ見ルニ、衆議院ニ於キマシテ可決確定シタル所ノ其議案ノ
實ニ些々タル字句ニデモ、修正シテ本院ニ回送スルト云フヤウナ有様デゴザ
イマス、其例が遂ニ流レテ、今日ノ如キ、昨日ハ豫算ノ上ニ於テ意見ヲ衝突
シ、今日ハ又鐵道ノ上ニ於テ意見ガ衝突スルト云フヤウナ、誠ニ面白カラヌ
結果ヲ見ルヤウニ相成ツテ居リマス、免ニモ角ニモ貴族院ガナス所ノ事ト云
フモノハ、下院ヲ眼中ニ置カヌ、即チ下院ト云フモノヲ常ニ蔑如シテ居ル所
ノ結果ヨリ生ズルモノト認ムルヨリ外ナイト信ジマスル、免ニ角此案ハ否決
スベキモノト信ジマス

○議長(鳩山和夫君) 貴族院回付ノ案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(鳩山和夫君) 少數ト認メマス、然ラバ張協議會ヲ開クコトニナラ
ウト考ヘマスガ、協議委員ノ數、及其選舉ノ方法ヲ御議定アランコトヲ希望
致シマス

○草刈親明君(百四十四番) 總テ昨日ノ通議長ノ御取計ヲ願ヒマス

○議長(鳩山和夫君) 草刈君ノ動議ニハ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ協議委員ノ數ハ十名議長ニ於テ之ヲ指名致シマ
ス——直チニ協議委員ヲ指名致シマス、鐵道敷設法中改正法律案、兩院協議
會委員西山志澄君、石塚重平君、山下千代雄君、武市彰一君、沼田宇源太君、
綾井武夫君、重野謙次郎君、大野龜三郎君、望月右内君、中野武蔵君——唯
今決議ノ趣旨ニ從フテ、貴族院ニ對シテ協議會ヲ開ク手續ヲナシマス、是ヨ
リ本日ノ日程ニ入りマス、日程第一、國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業ニ關
スル法律案

○佐々木正藏君(八十五番) チヨット委員會ノ報告ヲナシマス、極簡單デア
リマスカラ是カラ報告ヲ致シマス、國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業ニ關ス
ル法律案ノ委員會ノ結果ハ、僅ニ第一條ト、第四條ノ府縣都市ノ下ニ「區」ノ
一字ヲ插入スルト云フ修正ヲ致シタノアリマス、諸君モ御承知ノ如ク、此
府縣都市其他ノ公共團體ノ經營ニ係ル事業ニシテ、國庫ヨリ補助スル事柄ハ
近年頗ル多クナリマシタ譯デ、斯ク大市街テ水道事業、或ハ昨日議論ノアリ
マシタル所ノ大阪築港、其他長崎築港、或ハ函館築港ノ如キノ補助、且ソ又
年々歲々數百万ノ金ヲ補助スル所ノ天災ニ依テ復舊工事、是等ノ工業ニ
對シテ、唯今ノ所デハ何モ法律ヲ以テ其事業ヲ取締ルノ方法ガナインデゴザ
イマス、ソレ故ニ此法律ハ是モ必要ト認メテ、吾ニ委員會ニ於テハ全會一致
ヲ以テ、今ノ僅カ一字ヲ插入スルノミデ原案ヲ可トスルコトニ致シマシタ譯
デゴザイマス、其唯「區」ノ字ヲ一字入レルノハ、原案ノ儘デハ、常ニ彼ノ
函館區ノ如キハ水道ナリ築港ナリ、國庫ヨリ補助シテ其事業ヲ今日ヤリツ、
アルノデゴザイマス、此法律ヲ制定シテモ、其字句ノ足ラナイタメニ、此法律
ノ結果、彼地ニ取締リノコトガ及バスト云フヤウナコトハ、缺點デアルト云
フヤウナコトデ、此「區」ノ一字ヲ插入スル修正ヲ致シタ譯デアリマス、ド
ウカ速ニ御決定アランコトヲ希望致シマス

○吉本榮吉君(二百五十六番) 此法案ハ目下必要ニシテ最モ緊急ヲ要スル議
案デゴザイマスカラ、ドウカ讀會ヲ省略シテ直チニ確定アランコトヲ希望致
シマス

〔贊成タリト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 讀會省略ノ動議ガアツテ贊成ガアリマスガ、御異議ハ
ゴザリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 御異議ハナイト認メマス、讀會ハ省略セラレマシタ、朗
讀ヲ省略シテ全部議題ニ供シマス

國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業ニ關スル法律案(政府提出)

確定議

○議長(鳩山和夫君) 採決シマス、委員會ノ修正ハ、第一條「府縣都市」ノ下ニ「區」ノ字ヲ入レ、第四條同ジク「府縣都市」ノ下ニ「區」ノ字ヲ入レル、其
他ハ原案デアリマスガ、雙方トモ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 即チ委員會ノ修正ノアル部分ハ修正ノ通、其他ハ原案
ノ通り可決致シマシタ、本案ハ是デ確定致シマシタ、日程第二、砂防法案
湯本義憲君

第二 砂防法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

○湯本義憲君(十九番) 是モ簡単デゴザイマスカラ本席ヨリ報告ヲ致シマ
ス、此砂防法案ニ就キマシテ、委員長、理事ハ議長ノ御報告ノ通ノ次第デ、ソレ

ヨリ委員會ヲ開キマシテ質問ヲ致シマシタ所ガ、第九議會ニ於キマシテ制定

ニ相成リマシタ所ノ河川法ト相關聯致シマシタルモノデゴザイマス

ニ「多クハ其各條トモ河川法ニ則リマシテ造リマシタヤウナモノデゴザイマス、最モ此河川法ト砂防法ト云フモノハ、治水上今日必要ナル法律案ト委員

會ハ認メマシタ、全會一致ヲ以テ可決致シマタカラ、此段報告ヲシマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ「讀會省略」ト呼フ者アリ

○吉本榮吉君(二百五十六番)此議案ニ就イテハ、餘り異議ハゴザリマセヌガ、内務省ニ於テハ大變不都合ナコトガアル、何トナレバ、他ノ議案ニハ

「若クハ」ト云フトキニハ「ク」ノ字ヲ入レテアリ「立チ入ル」ト云フトキニハ

「チ」ノ字ヲ入レテアル、然ルニ此案ニハ「若クハ」ノ「ク」ノ字ガナイ「立チ入ル」ト云フ「チ」ノ字ガナイ是ハ内務省ノ誤デアルカ、深キ意味ガアツテシタコト

カ、此辯明ヲ求メテ然ル後……

○議長(鳩山和夫君)今ノハ御質問デスマス
〔無用々々〕「採決々々」ト呼フ者アリ「讀會省略」ト呼フ者アリ

○折田兼至君(百二番)本員バ讀會省略ニハ大反對デアリマス、一體五十條

モアル法律ヲバ、讀會ヲ省略シテ、直チニ議スルト云フコトハ、甚ダ其當ヲ得

ナイコトデアル、一體政府ガ斯様ナモノヲ必要ト認メルナラ、モウ少シク早

ク出シテ、十分ニ此事ノ得失ヲ攻究スルダケノ時間ヲ議員ニ與ヘナケレバ

ナラナイノデアル、方ニ議會ハ閉會スルニ餘日ナイト云フトキニナッテ、斯

様ナ長イ法律ヲ出シテ來テ、サウシテ緊急ニ決議ヲ要スルト云フヤウナ請求

ヲサレタリ、或ハ議院ニ於テハ、斯様ナ數十箇條モアル法律ヲバ、讀會ヲ省

略シテ直チニ議決シヤウナド、云フコトハ、法律其物ニ對シテノ重キヲ缺ク

ノミナラズ、議員トシテノ責任ニ於テ爲スペキコトデナイト思ヒマスカラ、斯

本員ハ讀會ヲ省略スルコトニハ反對致シ、併テ一讀會ヲ終ツタナラバ、定規

ノ日數ヲ經タ上ニ、二讀會ヲ開クコトヲ請求スルノデアリマス

○議長(鳩山和夫君)讀會省略ノ動議ガ出テ居リマスカラ、免ニ角採決致シ

マス、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
起立者 少數

○議長(鳩山和夫君)少數ト認メマス、他ニ御質問モナケレバ、採決シヤウ

ト思ヒマス
○中山丹治郎君(二十一番)此法律ハ、唯今ドナタカノ申述ベゴザイマシ

タガ、讀會ヲ略スト云フコトデアリマスガ、全ク之ヲ略シマスレバ、其責ヲ

免レナイコトデアラウト思ヒマス、ナゼナラバ、二十五條ハ、唯今此處ニ私

ガチヨフト見タトキニ、甚ダ不思議ナ所ガアラウト思フ、ト云フモノハ……

〔モウ濟ンデシマッタ〕「讀會省略ジヤナイ」ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君)讀會ハ省略セヌコトニ決定致シマシタ——他ニ御異論

ガナケレバ、採決シヤウト考ヘマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ求メマス

○議長(鳩山和夫君)多數ト認メマス

○吉本榮吉君(二百五十六番)不完全デアルケレドモ、直チニ二讀會ヲ開カ

レンコトヲ……

〔贊成反對〕ノ聲交々起ル

○議長(鳩山和夫君)直チニ一讀會ヲ開クベシト云フ動議ガアリマスカラ、

採決シマス

○折田兼至君(百二番)本員ハ反對ダカラ、反對ノ意見ヲ述べマス

○議長(鳩山和夫君)御述ニナッテ宜シイ

○折田兼至君(百二番)成ル程此法律案ハ、必要ト云フ上カラ言ツテハ、吾々共モ望ムノデアリマス、併ナガラ此

案ノ提出サレタ後、何日間日數ガアツカト云フコトヲ一ツ考ヘテ見ルト、此提出カラ今日マデノ間ト云フモノハ、殆ド餘日ガナイノデアル、唯此法律

一ツガ議場ノ問題トシテ提出サレタナラバ、僅ニ五十條デアリマスカラ、之ヲ調査スルニ決シテ暇ナイト云フコトハ言ヒ難イケレドモ、議會ノ閉會間際

ト云フトキニ至ッテ議案ヲ續々提出サレテハ、ドノ議案ヲ調査シヤウト云フ

テモ、調査スル暇ガナイノデアル、而シテ五十箇條モアリ、且ツ此各條ノ中ニハ、個人ニ關スル權利ニ屬スベキモノモアルノデアル、斯様ナモノヲバ、

議院ガ一瀉千里ノ勢ヲ以テ議決シテ、萬一一ニモ人民ニ不幸ヲ及スト云フコトガアツタラバ、諸君ハ何ヲ以テ其責ヲ辭スルコトガ出來マセウ、ソレ故ニ本

員ハ定規ノ日數ヲ經タ上ニ、更ニ二讀會ヲ開キ、ソレマデノ間ニ十分ニ思考

シテ、此法律ノ不都合ノナイヤウニ致シタイト思フノデゴザイマス、又能ク

考ヘマスルト、今頃ニナッテ提出サレルコトデアリマスカラ、政府デモ必シ

モ此議案ヲ今年通過サセヤウト云フ積デハナイノデアル、左様ナ無理ナ注文

ヲサレル筈ガナイノデアル、政府ガ一箇年掛シテ漸ク議會ノ閉會ノ頃ニ議

案ヲ作立テ、議院ニ一週間ニ足ラヌ日數ノ間ニ議シテシマヘト云フ無理ナ

考ヘマスルト、今頃ニナッテ提出サレルコトデアリマスカラ、政府デモ必シ

モ此議案ヲ突然出シテモ、或ハ思考ノ時間ヲ十分ニ與ヘルコトガ出來ナイ

カ、本年此案ヲ出シテ、一種宿題ノ有様ヲ以テ、議員ニ熟考サセヤウト云

フ積デアラウト思ヒマスカラ、必ズ是ハ定規ノ日數ヲ經タ上ニ、二讀會ヲ開

クヤウニ致シタイ

○湯本義憲君(十九番)私ハ直チニ二讀會ヲ御開キニナルコトニ贊成ヲスル

モノデゴザイマス、此法案ハ唯今折田君ヨリ五十條モアルカラシテ、定規ノ

時間ヲ與ヘラレシコトヲ望ムト云フコトノ説ハ、一應御尤ノヤウニハゴザイ

マスガ、併ナガラ此法案タルヤ、前年度ニ於テ河川法ト云フ條ヲ既ニ議定ヲ

致シテ居リマス、此法案ハ悉ク河川法ノドノ條ニ異シテ居ルカト云フト、第

一條カラ五十條マデ、悉ク此規程ト云フモノハ、河川法ニ昨年本院ガ議定ヲ

シテ、公布ナッテ居リマスノト、少シモ變ル所ガナイ、實ニ車ノ兩輪ノ如ク、

河川法ト砂防法案ト云フモノハ、相密著シテ居ルモノデアル、然ラバ之ヲ本

年度施行セザレバ、折角ノ河川法ト雖モ、其效ヲ奏スルコトガ殆ド乏シイコ

ト、考ヘマス、故ニ會期ノ差迫シテ居ル際ニ、政府ノ此場合ニ於テ提出ヲ致

シタト云フ事柄ニ就キマシテハ、私モ折田君ト同感ヲ持シテ居ルモノデハゴ

ザイマスケレドモ、併ナガラ此事ニ——此法案ノ如キハ、萬已ムヲ得ザル所ノ場合ノタメニ、私ハ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會モ引續イテ御開キニ相成

直チニ御可決ニナリマスルヤウニ希望致シマス

「のうく」「賛成々々ト呼フ者アリ」

○綾井武夫君(二十番) 政府委員ニ御尋ヲ致シマスガ、此第一番ニ、勅令ニ於テ指定スル漁獵、又ハ漁場ト云フコトガゴザイマスガ、此勅令ハ如何ナル漁獵、若クハ何處ノ漁場ト云フコトヲ御指定ニナル積デゴザイマスカ、伺ッテ置キマス

〔政府委員農商務省農務局長藤田四郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(藤田四郎君) 綾井君ノ御尋ニ御答ヲ致シマスガ、此第一番ニ、勅令ニ依リマシテ指定致シマスル所ノ漁獵、及漁場ノコトデゴザンスルガ、唯今政府ニ於キマシテ調査致シマスル所ニ依リマシテハ、漁獵ニ就キマシテ先づ臘虎、臘虎獸ト云フヤウナモノハ、此魚、即チ品物ヲ目途ニ致シマスル、又鯨ノ漁獵ノ如キモ、矢張サウデゴザイマス、ソレカラ、鰐トカ、鮪トカ、鱈トカト云フヤウナ多ク漁獵デゴザイマスルト云フヤウナモノニ就キマシテハ、サウ云フ品物ヲ目途ニ致シマスル、尙ホ勅令ニ於キマシテ指定致サウト云フ漁場デゴザイマスガ、漁場ニ就キマシテハ、或ハ支那洋海、或ハ朝鮮洋海、小笠原洋海、或ハ臺灣トカ、或ハ南洋トカ云フヤウナ風ノ側ニ見込ヲ附ケマスル○綾井武夫君(二十番) 分リマシタ、序デニ伺ロマスガ、此七條ノ此船籍ノコトデアリマスガ、製造後外國船ヲ買受ケタモノハ、既ニ五箇年経テ居レバ保護ヲシナイ、内國製ノ船ハ、十五箇年経過スレバ保護ヲシナイ、外國船ヲ内國船ニ買受ケタモノハ、日本人ノ所有ニナルデゴザイマセウカ、然ルニ同ジタメニ出來マシタノデゴザイマス、第一項ノコトニ就キマシテハ稍く窮屈ナル議論ト云フコトノ説ハアルカ知リマセヌガ、成ルベク此一方ニ於キマシテ造船規程ナリ、航海獎勵法ナリ出來マシタモノデゴザリマスカラ、即チ大キナ船ノ造船ニ附キマシテハソレノ規程モゴザリマスルガ、其他ニ附キマシテノ規程ガナリ、然ルニ是ハ内國船ニ附キマシテ、間接ニ便宜ヲ與ヘル所ノモノデゴザリマシテ、即チ我造船業ノ發達ノ幾分カ是ガ一ツノ階梯ニナルダラウト云フ考モゴザリマスシ、旁々斯ウ云フコトニナリマシタ○綾井武夫君(二十番) モウ一ツ御尋致シマスガ、第九條ニ「漁業ヲ終リタル日ヨリ二箇年間外國人ニ賣渡シ又ハ質入書入ヲナスヲ得ストアリマス、ル」云フコトガ十五箇年ヲ經過シテ、即チ十五箇年マデ使ッテ、十八年目ニハ役ニ立タナイ船デアル、サウ云フコトキニハ何處ノ者ニ賣フテモ差支ナイト云フコトニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ○政府委員(藤田四郎君) 何デゴザリマスカ……

○綾井武夫君(二十番) 例ヘバ船ヲ造ツテ保護ヲ受ケル、ソレヲ十五箇年使フ、ソコデ保護ノ期限ハ切レテシマフ、切レテシマヘバ役ニ立タス、其時ニ賣

ルトキハ、内外人誰モ買手ガアレバ賣ツテモ宜シイカト云フコトデス
○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマスガ、此法律ニ依リマスレバ、ソレモイケヌコトニナリマス

○綾井武夫君(二十番) 何故ニ賣レナイノデアリマスカ、モウ漁業ニ使ヘヌ危険ナモノデアルト云フモノヲ賣ルノニ、即チ錢出シテ買フテヤラウト云フノニ、一方デハ輸出マデ獎勵シテ、誰ニデモ賣ルンデアルカラ、安イ者ヨリ高イ者ニ賣ルト云フガ人情デアル、ソレヲ高ク買フ者ガアツテモ賣ラサスト云

フノハ、ドウ云フ趣意デアリマスカ
○政府委員(藤田四郎君) ソレハ詰リ此條ト云フモノハ、種々外國人ガ日本入ノ名前ヲ以テ致スト云フヤウナ弊害ガ往々アルコトデゴザイマスカラ、ソレ等ノ弊害ヲ防グ方ノ側カラ出マンシタノデ、即チ是が航海獎勵法ナドニモ確カアリマシタカト思ヒマス、即チソレ等ノ所モ彼は對照シマシテ、即チ昨年當院ニ於テ議決サレタ事柄ナドヲ參照致シマシタ譯デゴザイマス、尙ホ是ハ序ニ諸君ニ御願申シテ置キマスガ、此事柄タル前年來非常ニ漁業等ニ關係ノアル者等カラ希望モゴザリマシテ、或ハ帝國議會ノ中ノ建議等モゴザリマシタ事柄デゴザリマスカラ、ドウゾ一ツ速ニ御協贊アラムコトヲ希望致シマス○中村克昌君(二百六十七番) 本員ハ大體ニ於キマシテハ此案ヲ贊成スル者デゴザリマスガ、第九條ニ就キマシテ疑ガゴザリマスカラ、第九條ノ二項デゴザリマスガ、漁業ヲ終リタル日ヨリ三箇年間、其船舶ヲ外國人ニ賣渡シ、質入、書入ハ出來ナイトアリマス、此三箇年ト云フコトハ、ドウ云フ御都合カラデゴザリマスカ
○政府委員(藤田四郎君) 唯今綾井サンニ御答致シマシテゴザリマスガ、詰リ是ハ外國人ガ日本人ノ名前ニ依ツテ此獎勵ヲ受ケタリスルコトヲ防グ、即チ詐欺ノ手段等ヲ防グ一ノ方法トシテ、之ヲ必要ト見マシテゴザリマス○議長(鳩山和夫君) 田口君ノ通告ガゴザリマスガ、讀會省略ニ動議ガ出テ居リマスカラ、先づ其方ヲ先キニ決ヲ採リマス、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
○議長(鳩山和夫君) 三分ノ二ニ足ラヌト考ヘマス
〔アリマス、十分アリマス」ト呼フ者アリ又「足ラナイ足ラナイ」ト呼フ者アリ〕
○議長(鳩山和夫君) ソレデハ反對ノ方ノ起立ヲ見マセウ、讀會省略ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
○議長(鳩山和夫君) 起立者多數
○議長(鳩山和夫君) 讀會省略ニハ、三分ノ二ノ賛成ガナイト認メマス
○江原素六君(四十一番) 唯今ヨリ生絲ノコトニ就イテ委員會ヲ開キマスカラ……
○議長(鳩山和夫君) 江原素六君ヨリ退席シテ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、許シテ宜シウゴザリマスカ
〔異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕
○議長(鳩山和夫君) 許スコトニ致シマス——通告ガゴザリマス——田口卯

○田口卯吉君(百九十五番) 満場ノ諸君、諸君ハ頻ニ議事ヲ御急ギノ場合ニ、誠ニ心ニ欲シナイコトデゴザリマスガ、此問題ハ帝國ノ漁業上ニハ重大ナ關係ヲ以テ居ルト考ヘマスア、密獵船ニ對シテ、日本人ヲシテ此業ヲ營マシメヤウト云フ精神ニ出テ居ルト考ヘマス、併ナガラ此事ハ當局有司ニ於テハ大ニ事情ヲ御承知ナイコト、思フ、デ詰リ斯ノ如キ僅少ナル保護ヲヤリマシタ所ガ、是ガダメニ此業ヲ企テル人ガ殖エルト云フ程ノモノデナイ、又斯ノ如キ保護ヲ望ンデ此業ニ從事スル者ハドウカト言ヒマスト、此目的ヲ十分ニ達シ得ル如キ人デナイト思フノデゴザリマス、現ニ諸君モ御承知ノ通、彼ノ帝國水產會社ト云フモノガアッテ、年々若干ノ補助ヲ貰ッテ居ルノデス、而シテ彼ノ水產會社ガ今日ドンナ有様デゴザリマス、水產會社ガ臘胸獸、若クハ臘虎獵ニ於テ十分ナル利益ヲ得マシテゴザリマスルカ、實ニ微々タル跡形モナイ位ニナリ、其株主モ皆損シテシマシテ居ルデス、而シテドウデアル、實際此項ハ一個ノ私立ノモノデ段々企テル者ガアルノデス、ナゼデアルカ、凡ソ此漁業ヲ致シマスルコトハ、私共少シ事情ヲ知シテ居リマスルケレドモ、大概加拿陀ノばんくーば、若クハ桑港アタリニ居ル者ガヤツテ參リ、大概一ツノ船ガ八九千圓ノ資本ヲ下ロセバ、百噸内外ノ漁業ニ適シタ船ガ出來ルノデス、之ヲ以テ此日本ノ金華山沖カラ千島邊ニ掛ケテ、臘胸獸、臘虎獵スルノデアリマス、専ラ臘胸獸デアル、其利益ト云フモノハ、一艘ニ就イテ、非常ナモノナンデス、此案ニ依リマスルト、百噸デ凡ソ一箇年ニ五百圓、乗組員ノ補助ト共ニ六百圓内外ト考ヘマスガ、ソシナ利益ナモノデハナイ、一艘ニ就イテ幾万ト云フ利益ガ得ラレルノデス、斯様ナ補助ヲ目的トシテ此業ヲ營ンデ居ルト云フ如キモノトハ意味ガ違フ、ソレデ而シテデス、若シ日本ノ金持ガコソナ補助ヲ以テ、此冒險ナ事業ヲ企テルト云フガ如キ人ガヤツクナラバ、彼ノ水產會社ト同ジモノニナッテシマフ、ナゼナレバデス、此漁業ヲ營ム如キ人ガデス、農商務アタリヘ參シテ、補助ヲ願フ如キ人間トハ質が違フ、例ヘバ農商務省若クハ政府ヘ往ヶ加アタリカラ南洋へ向シテ、小笠原島邊ヲ通シテ、ソレデ横濱ヲ通シテ、此金華山沖ヘ參ル、丁度今頃參ル理窟ニナリマスガ、是等ノ業ヲ營ム西洋人ト云フ等ノ人ガ此水產事業ト云フモノヲ企テマスガ、マルデ性質ガ違フ彼ノ亞米利ナサイヤウナ人間デアルデス、斯ノ如キ者コソ、始テ此事業ガ企テラレルアタリデ名モ聞カレテ居ル人間デナケレバ、イケナイデゴザリマシヤウ、ソレ者ハ、まどろすナル者、即チ勇敢ナル冒險ナル——風波ノ中ヲ冒シテ、此臘虎獵ヲ捕ルト云フノデアリマスルカラ、實ニ勇マシイ、其代リニ一丁字モ識テ出来ル、若シ違シテ政府ノ補助ヲ貰ヘバ、帝國水產會社ト同ジコトデ、イヅレ新橋トカ、ソコラデ以テ酒色ニ耽ル人間デナケレバ、農商務省ヘ往シテ

御辭儀ハシマセヌ、決シテ僅カ五六百圓ノ金ヲ貰フテ——一艘ニ就イテ貰テ出來上ガルカ、チットモ出來上ガリマセヌ、私ハ農商務省ハ詰リ實地ノ事情ヲ御存シナサイマセヌカラ、斯ノ如キ案ガ出タト思ヒマスルガ、帝國議會ノ諸君モ、是等ノ事情ニ就イテ、定テ御不案内ノ方ガ多イカラ、僅ニ十五万バカリノ金ヲヤレバ、此事ガ出來ルト御思ヒナス、本案ヲ御贊成ナサルカ知ラヌガ、一體是等ノ業ニ從事スル者ハ、人間ノ質ガ違フ、保護補助ナドヲ貰フ者デハ、是ハ出來ヌ、誠ニ遠洋漁業ト云ヒマスルガ、彼ノ日本ノ近海ニ居ル所ノ遠洋デナイ、漁業ヲヤル者ハドウデゴザリマス、アレノ少シ毛ノ生ヘタモノガ是デアル、アレニ乘シテ居ル者フ、百噸バカリノ帆前船ニ乗セレバ、遠洋漁業ヲナシ、彼ノ帆船デ以テ漁業ヲスル人間ガ、農商務省ヘ往シテ保護ヲ貰ヒマスカ、アレ等ガ發達シテ、始テ本當ノ遠洋漁業が出來ル、此保護デ身體ヲ挫キ、精神ヲ挫イタ紳士然タル者ニ、此遠洋漁業ヲヤラセマスルノハ、實ニ國家ノ妨害ナルノミナラズ、此業が出來ナインミナラズ、却テ此勇敢ナル漁師ナドノ將來發達シテ、此業ヲ營マウト云フ者ノ妨害ヲスル、私ハ寧ロ是ハ妨害ニナルト考ヘマスカラ、此案ノ廢案ヲ主張致シマス
(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○小原金治君(二百二十四番) 田口君ニ少シ質問ヲ致シマス、田口君ハ此案ガ勇敢ナル漁夫ガナイカラ、マダ施行ガ出來ヌ、若シ此案ヲ施行シタ所デ、水產會社ノ二ノ舞ヲ踏ムヤウナモノデアルト云フ御論旨ト承リマシタガ、果シテ我沿海ニハ彼ノ勇敢ナル、此難事ニ——遠洋漁業ニ當ル漁夫ハナイト云フ御見込デアルカ、田口君ハ彼ノ日本船ノ僅ニ小サナ船ヲ以テ、數十海里ノ沖ニ出デ、彼ノ難風ニ堪ヘテ、己ノ身命ヲ懸ケテ、此漁業ヲスルト云フ漁夫ガアルコトヲ御存シナイノデアリマスカト、吾ミハ考ヘマスルノデス……○田口卯吉君(百九十五番) チヨウト御答申シマスガ、ソレハ私ノ論旨トハ御聽達ヒト考ヘマス、私ハアルト云フンデス
○小原金治君(二百二十四番) ソレデスカラ、ソレヲ御聽申ス、諸リアナタノ御考ハ、斯ウ云フ法案ヲ施行スレバ、金ヲ持ツタ柔弱ナ人ニハ助フ爲スコトガ出來ルガ、慄懾ナル立派ナル漁師ノ助ラシテ、漁業ヲスルコトハ出來ナイト云フ御趣意ト承リマシタガ、果シテサウナレバ、我國ニハ慄懾ナル極ク偏強ナル漁師ハナイト云フ御見込デアリマスカ
○田口卯吉君(百九十五番) アルト云フノデス、漁師ニヤルノハ妨害スル、勇敢ナル漁師ハ決シテ農商務省ヘ往シテ、是バカリノ金ヲ貰フ者デナイト云フノデゴザイマス
○内藤久寛君(二百七十一番) 唯今田口君カラ反對ノ意見ガアリマス、是ハ頗ル極端ナル御意見デアリマシテ、其手續ニ至シテハ、絕對ニ保護獎勵ト云ト思ヒマス、通告ガアリマスカラ、通告ノ順序デヤリマス、内藤久寛君
(内藤久寛君演壇ニ登ル)
○内藤久寛君(二百七十一番) 唯今田口君カラ反對ノ意見ガアリマス、是ハ頗ル極端ナル御意見デアリマシテ、其手續ニ至シテハ、絕對ニ保護獎勵ト云フノハ、是等事業ニハ良クナイト云フ御論旨ノヤウニ聞エマスガ、是ハモラナイヤウナ人間デアルデス、斯ノ如キ者コソ、始テ此事業ガ企テラレルウ別ニ駿スル程ノコトモナイト私ハ考ヘマスル、私ハ贊成ノ意見ヲ簡單ニ申述ベテ置キマス、御承知ノ通此遠洋漁業ト云フモノハ、既ニ亞米利加其他ノ外國人ガ、年々歲々多クノ數ノ船ガ參リマシテ、莫大ナル幾百万ト云フ金ヲ、日本ノ近海カラシテ奪去シテ、日本ノ不利ヲ來シテ居ルト云フコトニナツテ

居ル、ソレデ此日本ノ遠洋漁業ノ體裁ハドウデアルト申シマスレバ、日本ノ漁業ハ甚ダ進ミマセヌ、遠洋漁業ニ熟練ナ者ト云フモノハ誠ニナイノデ、今日ハ僅ニ創始ノ時代デアリマシテ、此遠洋漁業ニ從事スルガ如キ者ハ、餘程獎勵ヲ與ヘマセヌケレバ、始テノコトデアルガ故ニ、不經驗デアツテ、成立チ悪クイノデアル、是ニ於キマシテ之ヲ獎勵シテ、遠洋漁業ヲ企テサセマシテ、外國船ガ參ツテ密獵ヲスルト云フ者ヲ、今年カラハ大イニ防グト云フコトヲ企テナケレバナラムト思フ、ソレデ又此案タルヤ、昨年既ニ農商務ノ水產調查會議ニ於テ、十分ノ取調ヲ致サレタヤウニ、當時ノ新聞紙上ニモ見エマス、聞ク所ニ據リマスレバ、亞米利加ノ密獵船ノ如キハ、今度日本ノ政府ハ大イニ日本近海ニ遠洋漁業ヲ獎勵シテ、日本國內ニ於テ船舶ガ澤山出來ルト云フコトデ、今年ナドハ少シ參ルノヲ躊躇シテ居ルト云フコトデアリマス、若シ今年ノ如キ、是ガ否決セラレテ、日本ノ政府ハ遠洋漁業ヲ獎勵セスト云フコトニナリマシタナラバ、亞米利加ノ漁業船ナドハ、又明年頃カラシテ大イニ來ツテ、此密獵ヲスルト云ラコトハ免レナコトデアルト私ハ信ジマスル、ソレ故ニ諸君ハ此極端ナル、保護スベカラズ獎勵スベカラズト云フ論ニ御贊成ナクシテ、實際日本ノ富ヲ増シ、又一ニハ海外ノ密獵ヲ防グト云フ、國權ノ上ニモ關係アルコトデアリマスカラシテ、此案ニ御贊成ニナルヤウニ希望致シマス。

○議長(鳩山和夫君) 討論終結ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 政府委員藤田四郎君

○政府委員(藤田四郎君) 討論終結ノ動議モ出テ居リマスカラ、簡単ニ申シマス、此遠洋漁業ノ必要ナル事柄ニ就キマシテハ、前回ニ於キマシテ、農商務大臣ヨリ開陳セラレマシテゴザリマスカラ、餘り詳シク申スコトノ必要ハナイカモ知レマセヌガ、此一方ニ於キマシテ、海事思想ヲ發達シマスルト共ニ、遠洋航海ヲ發達致シマシテ、我邦ノ產業ヲ發達サセルト云フコトハ、疑ナイコト、思ヒマス、先刻田口君カラ御話ガゴザンシタガ、是ハ全ク事實ガ違ツテ居ルモノト云フコトヲ斷言シテ憚カラナノノデ今日存シマスル所ノ水産會社ト云フモノハ、矢張其他起々タ所ヨリハ、年々擴レテ居リマスルカラ、調査ニ據リマスト漁獲モ多クゴザリマス、即チ他ニ新ニ起リマシタ三四艘ノ船ト比較シマスト、漁獲高デモ何デモ殖エテ居ル、即チ漁獲ノ方法ガ進シテ上手ニナツテ居ル、免ニ角其事柄ハ佛蘭西デ百年來續イテ居リマス事デアリマス加拿陀デモ其通十四五年來續イテヤンテ居ル、ドウゾ御贊成アランコトヲ

○議長(鳩山和夫君) 討論終結ノ動議ガアツテ贊成ガアリマス、異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(鳩山和夫君) 討論終結シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス
○吉本榮吉君(二百五十六番) 直チニ二讀會ヲ開カレシトヲ望ミマス(「贊成贊成」ト呼フ者アリ)併テ三讀會ヲ省略シテ確定議ニセラレシコトヲ

居ル、ソレデ此日本ノ遠洋漁業ノ體裁ハドウデアルト申シマスレバ、日本ノ漁業ハ甚ダ進ミマセヌ、遠洋漁業ニ熟練ナ者ト云フモノハ誠ニナイノデ、今日ハ僅ニ創始ノ時代デアリマシテ、此遠洋漁業ニ從事スルガ如キ者ハ、餘程獎勵ヲ與ヘマセヌケレバ、始テノコトデアルガ故ニ、不經驗デアツテ、成立チ悪クイノデアル、是ニ於キマシテ之ヲ獎勵シテ、遠洋漁業ヲ企テサセマシテ、外國船ガ參ツテ密獵ヲスルト云フ者ヲ、今年カラハ大イニ防グト云フコトヲ企テナケレバナラムト思フ、ソレデ又此案タルヤ、昨年既ニ農商務ノ水產調查會議ニ於テ、十分ノ取調ヲ致サレタヤウニ、當時ノ新聞紙上ニモ見エマス、聞ク所ニ據リマスレバ、亞米利加ノ密獵船ノ如キハ、今度日本ノ政府ハ大イニ日本近海ニ遠洋漁業ヲ獎勵シテ、日本國內ニ於テ船舶ガ澤山出來ルト云フコトデ、今年ナドハ少シ參ルノヲ躊躇シテ居ルト云フコトデアリマス、若シ今年ノ如キ、是ガ否決セラレテ、日本ノ政府ハ遠洋漁業ヲ獎勵セスト云フコトニナリマシタナラバ、亞米利加ノ漁業船ナドハ、又明年頃カラシテ大イニ來ツテ、此密獵ヲスルト云ラコトハ免レナコトデアルト私ハ信ジマスル、ソレ故ニ諸君ハ此極端ナル、保護スベカラズ獎勵スベカラズト云フ論ニ御贊成ナクシテ、實際日本ノ富ヲ増シ、又一ニハ海外ノ密獵ヲ防グト云フ、國權ノ上ニモ關係アルコトデアリマスカラシテ、此案ニ御贊成ニナルヤウニ希望致シマス。

○議長(鳩山和夫君) 遠洋漁業法案(政府提出)
〔全部贊成ト呼フ者アリ〕
○議長(鳩山和夫君) 全部議題ト爲シマス
〔「異議ナシ」又「異議アリ」ト呼フ者アリ〕
○議長(鳩山和夫君) 異議アリノ聲ガアリマスカラ起立ニ問ヒマス、本案ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(鳩山和夫君) 起立者 多數
○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、本案ハ確定致シマシタ、日程第四、鐵道敷設法中改正法律案

○議長(鳩山和夫君) 「全部贊成」ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 全部議題ト爲シマス
〔「異議ナシ」又「異議アリ」ト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 異議アリノ聲ガアリマスカラ起立ニ問ヒマス、本案ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(鳩山和夫君) 第四 鐵道敷設法中改正法律案(望月右内君外)
四十名提出
第一讀會ノ續

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、本案ハ確定致シマシタ、日程第四、鐵道敷設法中改正法律案

○議長(鳩山和夫君) 起立者 多數
○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、本案ハ確定致シマシタ、日程第四、鐵道敷設法中改正法律案

○議長(鳩山和夫君) 起立者 多數
○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、本案ハ確定致シマシタ、日程第四、鐵道敷設法中改正法律案

○森輝見君(二百番) 一言ノ質問ヲ致シマス、最早過日は委員長ノ報告書ヲ見マスルト、國防云々ト云フコトヲ頻ニ說イテゴザイマセヌ、茲ニ質問致シテ宜シウゴザイマスカ
○議長(鳩山和夫君) 是ハ委員長カラ報告ナスツテ居ルカラ直チニ質問ナサッテ宜シウゴザイマス
○森輝見君(二百番) ソレデハ委員長ニ一言質問ヲ求メマスガ、此提出案ノ理由書ヲ見マスルト、國防云々ト云フコトヲ頻ニ說イテゴザイマス、從ツテ改正ヲ爲ス所ノ理由トマルデ反對シテ居ルノデアル、私ハ反對シテ居ル所ノニ、遠洋航海ヲ發達致シマシテ、我邦ノ產業ヲ發達サセルト云フコトハ、疑ナイコト、思ヒマス、先刻田口君カラ御話ガゴザンシタガ、是ハ全ク事實ガ違ツテ居ルモノト云フコトヲ斷言シテ憚カラナノノデ今日存シマスル所ノ水產會社ト云フモノハ、矢張其他起々タ所ヨリハ、年々擴レテ居リマスルカラ、調査ニ據リマスト漁獲モ多クゴザリマス、即チ他ニ新ニ起リマシタ三四艘ノ船ト比較シマスト、漁獲高デモ何デモ殖エテ居ル、即チ漁獲ノ方法ガ進シテ上手ニナツテ居ル、免ニ角其事柄ハ佛蘭西デ百年來續イテ居リマス事デアリマス加拿陀デモ其通十四五年來續イテヤンテ居ル、ドウゾ御贊成アランコトヲ

○議長(鳩山和夫君) 誓論終結ト呼フ者多シ
○議長(鳩山和夫君) 討論終結ノ動議ガアツテ贊成ガアリマス、異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(鳩山和夫君) 討論終結シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス
○吉本榮吉君(二百五十六番) 直チニ二讀會ヲ開カレシトヲ望ミマス(「贊成贊成」ト呼フ者アリ)併テ三讀會ヲ省略シテ確定議ニセラレシコトヲ
御質問ハアナタハ實地御承知デアルカナオカハ知リマセヌガ、全體其希望ノ所ハ往ケナインデス尤モ軍事上ニハ成ルタケ——獨リ軍事上ニアリマセヌ、總テノ事ニ近イ所カラ往ツテ、工費ガ安クナルト云フ、ソレヨリノコトハナイ、併シ琴平、池田間ハ到底私ハ我邦ノ國有鐵道トシテ造ルニ、斯ウ云フ難工事ノ所ニ向ツテハ、鐵道ハ敷ケナイト思フノデゴザイマス、此琴平、池田間ハ勾配ガ急ニシテ、殆ド鐵道計畫ノ出來ナイ處デアリマス、強イテ計畫シヤウト言ヘバ、一哩平均二十五六万圓モ掛ルノデアリマス、未ダ我邦ニハ

左様ナ其難工事ヲ強テ鐵道ノ設計ヲスル所ハナインデアリマス、御承知ノ通此日本ノ中心デアリマスル、最モ國ノ中心デ、人間デハ脊骨トモ云フ位大切ナ所ノ中央線、此中央線ニ鐵道ヲ敷ク、ソレニ就イテ、難工事ヲ忍ンデ、八王子カラシテ甲府ノ方ヘ往ク所デアッテスラモ、左様ナ其難工事ハナインデアリマス、此或ル一局部ニシテ二十五六万圓モ要ル所ハ、到底私ハ日本ノ國力デ斯様ナ所ニ敷設スルト云フコトハ、國家經濟ノ許サヌ所デアルト思フノデアリマス、ソレデアナタハ御承知デアリマセウ、四國ノ山脈ト云フモノハ、免モ角モ、吾ミノ五六六年辛苦經營シテ線路ヲ探しマシタ所デハ、唯今ノ修正シマスルヨリ善イ線路ガナイデゴザイマス

○森輝見君(二百番) 因難デ出來ヌト云フノデアルカラ、意見ガ分リマシテ、其次ニ私ノ疑フノハ、提出者ノ中ニハ、私ノ確ニ聽ク所ニ據シテ見マスルト、高松ヨリ德島ニ至ル線路ハ、私設鐵道ヲ敷キタイト云フコトヲ願シテ出テ居ルト云フコトヲ聽イテ居ル、サウ致シマスト、又之ヲ官設ニ致スコトニナリマスト、私設ト官設ト兩線設ケルト云フ趣意デアルカ、左様ナコトハ望月君ハ御承知アルカナイカ知レヌガ、専門家デゴザイマスカラ、何カソレニハ事情ノアルコトデゴザイマスカ、或ハ官線私線ヲ置カヌナラヌト云フ必要ガアルカ

○望月右内君(二百八十七番) モウ少シ分シテ戴カヌト困ル、ソンナ私設デ敷ク所ヘ國費デ敷クノデナイン、ソレハ第二條デアリマス、第一條ノ方ハ今國費ヲ以テ敷クト云フノデナイ

○森輝見君(二百番) 一期線デゴザイマス、サウスルト官設デゴザイマス

○望月右内君(二百八十六番) 豫定線デゴザイマス

○森輝見君(二百番) 私設デヤルト同ジデハナイカ

○望月右内君(二百八十五番) 私設デヤルト言ヘバ、矢張私設ニ許スコトガ出来ル

○森輝見君(二百番) 然レバ官設ニスルト、之ヲ設ケル必要ハ何デゴザイマス

○望月右内君(二百八十六番) 國有線路ノ筋ニシテ置キマスレバ、私設デヤルト致シマシテモ、十分ナル條件ヲ付シテ許スコトガ出來ルデゴザイマス

○綾井武夫君(二十番) 今望月君ハ琴平、池田間ハ一哩二十五六万圓掛ル、斯ノ如ク高イト言シテ、仕舞ニハ鐵道ガ出來ナイト言ハレタ

○望月右内君(二百八十六番) 鐵道ハ出來ルケレドモ、二十五六万圓モ金ガ多ク掛ルト云フノデス

○綾井武夫君(二十番) 金ヲ掛ケレバ出來ルト云フコトハ御承知デゴザイマセウナ

○望月右内君(二百八十六番) 勿論、金ヲ掛ケレバ出來マス

○綾井武夫君(二十番) 二十五六万圓ト云フコトハ懸直ガアルト思ヒマスガ、總高ハナンボアレバ出來マスカ

○望月右内君(二十番) 總高デ平均シテサウデス、アナタハドウ云フ調が出来テ居ルカ知リマセヌガ、アナタハ土地ノ御人デアルカラ、出來テ居ラウト

○綾井武夫君(二十番) 其次ニ、高松カラ右ノ線路ニ接續シテ河田ニ出ルハ、清水越デアラウト思フガ、此鐵道ハナンボ掛クタラ出來マス

○望月右内君(一百八十一番) 前ノハ十七哩デ、工費ガ四百二十万圓即チ一哩ニ附キ二十五万ト云フノハ、私ノ人ヲ遣シテ調ベタノデ、是ヨリ安スケレバアナタノ御勝手ダ……

○綾井武夫君(二十番) 高松カラ河田ヘ行クノハ……

○望月右内君(一百八十七番) リラ政府モ分クテ居リマセウ、サウ云フモノハ十万圓以下デ出來ルト云フコト確ニ保證シマス

○綾井武夫君(二十番) ソレカラ其次ニ徳島カラ高知ヲ經テ、ソレカラ松山ニ至ルト云フコトニナシテ居リマスガ、此總高ノ費用ハ……

○望月右内君(一百八十七番) リレハ四國線全體ノ費用ハ二千五百九十九万圓

○綾井武夫君(二十番) ソレカラ、若シ是ガ通過シマスレバ、何時カラ著手シマスカ

○望月右内君(一百八十七番) 唯今ノ一期線ヲ終ツテ尻ヘ續イテ行ク、十箇年先キニナルカ、十二年デヤレルカ、今ノ一期線ガ工事ヲ終ヘテカラ續イテ行ク

○綾井武夫君(二十番) 諸リ是ハ線路ガナイカラ、斯ウナシタト云フコトヲ仰シャリマシタガ、若シ然ラバ十箇年以内ガ——今カラ十箇年掛クテスルカ、十二箇年デスルカ分ラヌガ、一期ノ工事が終ツテカフト云フノデ、其中ニ望月君ガ御調デアリマスマイガ、若シアタラドウスル

○望月右内君(一百八十七番) アレバ良イ線路ヲ見タトキニ修正ヲスルノデ方ハ、吉野川ノ洪水ト云フモノガ度々アル

○綾井武夫君(二十番) 此上ハアナタ反対ノ通告ヲシテ居ルカラ……

○綾井武夫君(二十番) 御逃ゲナサルカ

○望月右内君(一百八十七番) 逃ゲルシヤナイ、餘リ誇ミシイカラ

○綾井武夫君(二十番) 先年ノ水害ノトキニハ、其吉野川ノ縁ニハ、電信線ノ上ニ草鞋ガ引懸シテ居ル、何故デアルカト云フト、水害デサウナシタト云フノデ、アスコナドハ高架鐵道ヲモ御架ケニナルカ

○望月右内君(一百八十七番) 無論當リ前ノ鐵道デ——左様ナ無用ナ答辯ハシマセヌ

○恵松隆慶君(二百七十二番) 此問題ハ、昨年ノ議會デ通過シタノデ、質問トカ反対トカアルマイト思ヒマス、讀會ヲ省略シテ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○綾井武夫君(二十番) 修正ノ意見ガアリマス

○議長(鳩山和夫君) 三分ノ二以上ノ多數アルモノト認メマヌ、讀會ヲ省略シテ

○動議(贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス)

起立者 多數

○綾井武夫君演壇ニ登ル

（綾井武夫君演壇ニ登ル）諸君、鐵道ノコトニハ、御自分モ鐵道博士デアルト

任ゼラレテ、諸君モ認メラレテ居ル望月君ガ委員長トナシテ、御調ニナリマシタ此議案デゴザリマスカラ、定テ完全ナ案デハゴザイマセウ、ソレヲ素人ノ私ガ此處ヘ上タテ彼是言フベキコトハナイノジャゴザイマスルガ、併ナカ

ラ隨分物ハ精シクナルト、又素人ニ附込ンデ胡魔化スト云フコトハナイトモ

云ハレマセヌ、ソレ故ニ或ハソレガアルカナイカハ、私ハ此デ諸君ニ質サナ

クチャナラヌ、其コトニ就イテ望月君此案ヲ此ニ御出シニナシテ、委員會ノ

報告ヲ爲サルトキニ曰ク「委員會ハ十分ニ慎重ヲ加ヘテ審査ヲシタ以上異論

ナクシテ出シマシタ」勿論其咎デアル、委員會ニ不同意ガアル咎ガナイ、何

故トナレバ、ソレニ就イテハ議長鳩山君ニモ少シ御注意ヲ申サナクチャナラ

ヌガ、元來委員選舉ハ、各部若クハ通ジテスルガ當リ前デゴザリマスケレド

モ、其手數ヲ省略シテ、議長ニ依託スルノデアル、故ニ議長ガ委員ヲ選舉ス

ルトキニハ、餘程注意ヲシテ貴ハナケレバナラヌ、所ガ、此議案ハ鳩山サン

モ即チ提出者ノ一人デアル、提出者ニ委員ヲ選ンデ吳レト云フノガ、既ニ面

白イ話デアル、自ラ提出シテ居ル議案ノ委員ヲ選メト云ヘ、其議案ニ贊

成シサウノモノヲ選ムハ極シテ居ル、併シ鳩山君ハサウ云フコトハシナイト

思フテ居ル、公平ノ人ト信シテ居ル、所ガ、如何せん此鐵道ハ、委員付託ニナシ

タノハ十八名ノ委員ニ付託ニナシタ、其十八名ノ委員ノ中、十名ハ提出者デ

アル、其外ニ三名ハ贊成者デアル、贊成者ノ外ニマダ五人アル咎デアルガ、

五人ノ中ノ一人ハ同志會ノ會員デアル、シテ見ルト、無論十四人ハ贊成シテ

調ニナシテ、委員會ノ異論ガナイン所ガ、委員會ガ調ベタモノシヤカラ、

ソレデ宜カラウト云フ、斯ウ云フコトデ通過サレルト、甚ダ遺憾千萬デアル

ソレ故ニ、十分ニ諸君モ其邊ヲ御注意下スシテ、ドチラガ宜イカト云フコト

ヲ御採擇ヲ願ヒタイ、私ノ修正動議ハ、此第一章第二條「四國線中第一項第

二ヲ左ノ如ク改ム」トシテ、二項設ケテ居ル「德島縣下德島ヨリ高知縣下

高知愛媛縣下松山ヲ經テ八幡濱ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ高知縣下須崎

ニ至ル鐵道」ト云フノガ一箇條、其次ニ「香川縣下高松ヨリ前項ノ線路ニ接

續スル鐵道」此二項ト、並ニ第二章第七條第十一項ノ次ニ加ヘテアルヲ、其

六項ノ中第一項「德島縣下德島ヨリ高知縣下高知愛媛縣下松山ヲ經テ八幡濱

ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ高知縣下須崎ニ至ル鐵道」ト是マデノ案ヲ

議案ヲ削除シテ、此次ノ會期マデ此決定ヲ延ベテ貴ヒタイト云フノガ私

ノ提出スル意見デアル、其意見ハ是カラ述ベマス、現今ノ豫定線路ニハスウ

アル「香川縣下琴平ヨリ高知縣下高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道」トアルノヲ、

此案デハ琴平カラト云フ起點ヲ變ヘテ、德島ニシヤウト云フノデ、其理由ト

シテ望月君ノ御持出シナルト云フノハ、現今ノ線路ハ出來ヌト云フノデア

ル、出來ヌト云フノデハナイガ、金ガ澤山掛ルト云フノデアル、所ガ、要ス

ルニ鐵道ノ要ハ、其鐵道ヲ架ケタ鐵道カラ、利益ヲ目的トシテ架ケルモノデ

アルカ知ラヌ、併ナガラ此理由書ヲ見マスルト、國防ガ一番デ、其外交通上

ノ必要カラスウシナク、チャナラヌト云フノデアル、既ニ國防上必要ノ鐵道トシテ見ルトキバ、單ニ金額ノ高イ安イト云フ事デ、利害ヲ判断スル譯ニハ行カヌ、幾ラ金ガ安クトモ、一哩一万圓位デモ、必要ノナイ所ニ、鐵道ヲ架ケル必要ハナイ、又澤山金ガ掛カラウトモ、國防ニ必要ノ所ハ、架ケナクチャ

ナラヌ必要ガアルト私ハ斷言スル、而シテ國防ト云フ點カラ見マスレバ、德

島ニ起點ヲ置イテ、高知ト云フノハ如何ナル國防ニ必要ノ鐵道デアルカ、望

月君ニ聞カナケレバナラヌ、前ノ議會ニ於テ、四國ノ師團ハ讚岐ノ全通寺ト

云ノ處ニ設置シテアル、丸龜師團カラ琴平マデハ一哩半シカナイ其所ノ起點

ヲ改テ德島ニ持ツテ往クトハイカン、又高松ヲ起點トシタ所ガ、此線路ヲ迂回シテ池田マデ出ルニハ、琴平カラ十七哩シカナイ所ヘ、高松カラハ池田

ヘ八十哩モ回ラナケレバ往クコトガ、出來ナイ、八十哩モ往クト云フ日ニハ、

陸軍ニ於テ行軍シテモ、ウ少シ早ク達スル、ソレ故ニ國防上ノ必要ハナイ鐵

道テアルト云フコトハ斷言ガ出來ル、而シテ其總高ヲ聽イテ見ルト、望月君

ガ言ハレル如ク、四百二十萬圓又四國總體ノ費用ハ一千六百万、是ハ

望月君ノ云フ通誤算ハナイモノトシテノ話デアル、一言加ヘテ置カナケレバ

ナラヌ、諸君ガ御協賛ナサタ中央鐵道ハ、今日デハ一千万モ足ラヌト云フ

コトヲ聽イテ居ル、故ニ果シテ二千六百万圓デ出來ルカ、出來ナイカ保證

ハ出來マセヌ、併シ鐵道博士ガ云フコトダカラ間違ナイトシテ、二千六百

万圓モ掛ケテ、國防上必要ガアルカラ鐵道ヲ敷クト云フ曉ニ、僅ノ金額ノ多

少ヲ爭フテ、ソレ故此處ヘ架ケルコトハ、出來ヌト云フコトハ、如何ナル論理

カラ出タモノデアリマセウカ、其四百万兩モ池田カラ德島マデノ費用ト、池

田カラ琴平マデノ費用ヲ較ベマスルト、恐ラク望月君モ琴平ガ餘計減ルトハ

仰シヤルマイト思フ、單ニ哩數ニ比例スレバ高イガ、起點カラ終點マデ金額

ヲ比較致シマスレバ、ドチラガ多クナルカ分ラヌ、私共ハ德島ガ餘計要ル

ト斷言スル、鐵道ガ營利的會社私設鐵道デ架ケテ儲ケヤウト云フ點カラ參レ

バ、哩ノ少クテ金ガ掛ルト、哩ノ多イモノトハ、運賃ナリ旅客ノ賃銀ガ澤山

ノ總高ノ金額ヲ比較シテ見タ時、其方ガ高クナシテモ構ハナイ、唯一哩ニ比

取レルカラ、安イ所ヘ架ケテ哩ヲ延バスガ宜イト云フ議論ガアルカモ知レマ

セヌガ、國家ガ國防ノ必要カラ云ヘバ、寧口高クテモ近イノガ必要デアル、

タルヲ知ラヌノデアル、苟モ一年ニ一師團ノ消費ハ百万兩使フノデアル、百

万兩ノ金ヲ毎年使用スル師團本部ヲ丸龜ニ置イテ、四國ノ國防上必要ト云フ

例スレバ安イカラ、是ガ宜イト云フコトニ極メルト云フコトハ、私ハ何ノ意

タルヲ知ラヌノデアル、縱令四百二十萬圓ノ金ハ多イト雖モ、ソレガ要

ルト假定シテモ、多イト見テモ、毎年百万近クモ使フ陸軍ノ利便ヲ圖レバ

少シク哩數ニ合セテ高クテモ、ソレヲ架ケテ置クノガ便利デアル、鐵道ガ敷

設ニナシタ後ノ結果ヲ考ヘテ見レバ、同日ノ論デハナイ、琴平ノ方カラ架ケ

ル方ガ、私ハ利益ガアルト断言スルノデアル、ソレカラ是ハ國防上デハナク

カヌ、幾ラ金ガ安クトモ、一哩一万圓位デモ、必要ノナイ所ニ、鐵道ヲ架ケ

ル方ガ、私ハ利益ガアルト断言スルノデアル、ソレカラ是ハ國防上デハナク

<p

意ニシテ見テモ、此鐵道ノ荷物旅客ノ目的ハ、上佐ノ荷物——高知縣ノ荷物旅客ヲ引出スニハ、イヅレガ便利デアルカト云フト、長イ線路ヲ通ツテ德島へ出ルガ便利デアルカ、短イ線路ヲ通ツテ讃岐ヘ出ルガ便利デアルカト云フコトハ、諸君ハ既ニ御分リノコトデアラウト思フ、池田カラ七八十哩モ曲ツテ往クノト、十八九哩往ケバ直チニ海岸ニ出ラレルノト、イヅレガ便利デアル、七八十哩往ケテモ海上ノ便利ガ宜イト云フナラバ、或ハ其方が良イト云フコトガアリマセウ、併ナガラ徳島ト云フ處ニハ、諸君モ御承知ノ通港ト云フモノガナイ、故ニ高知縣ノ品物ナリ高知縣ノ旅人ナリガ徳島ヘ來テモ、一朝水ガ起ツテ——水難風波ノタメニ船ヘ積入レルコトガ出來ヌデ、四日モ五日モ滯在シナケレバナラヌコトハ屢々アルノデアル、然ルニ琴平ヘ參レバ哩ガ近クテ、多度津ヘ回レバ朝晚神戸ナリ大阪船ノ交通ガ自由ニ利ク、此點カラ比較シテモ起點ヲ琴平ニ定メル方ガ國家ノ富源、即チ旅客荷物ノ便利ヲ與ヘルノ非常ナルコトハ、諸君ハ御判断ガ屹度出來ルダラウト思フ、故ニ若シ鐵道ノ株主ヲ利益スルト云フ私設會社ニスレバ、徳島ニスレバ長クナリマスダケ賃錢ガ餘計ニ取レル、併ナガラ國家ガ架ケル鐵道ハ、哩數ハ成ルベク短ク、成ルベク早ク達スルヤウニシテ、成ルベク安イ賃錢デ人モ往キ、荷物モ達スルト云フ目的デナケレバナラヌ、若シ迂回シテモ構ハナイ、鐵道ノ哩ニ金ガ掛ラヌケレバ宜イト云フナラ、中央線路ノ如キ山間ニ架ケル必要ハナイノデアル、海岸ヲ迴ツテモ宜イ話デアル、故ニ國家ガ鐵道ヲ架ケルト云フ目的ト、私立會社ガ株主ノ利益ヲ計ルト云フコトハ、同一ノ論デハナイノデアル、ソレニシテモ尙ホ私ハドチラガ架ケル必要ガアルカト云フト、望月君ガ言ハレル高イ線路ニシテモ、之ヲ棄テ、徳島ヘ通ルト云フコトニハ、同意ハ出來ヌト云フ所以デアル、縱シ一步ヲ退イテ高イカラ——金ガ掛ルカラ架ケラレヌト云フナラバ、外ノ線路ヲ搜索シナケレバナラヌ、其外ノ線路ニ至ッテハ、望月君曰ク、調ベタガナイ、ナイトハ何ヲ以テ斷言スルノデアルカ、即チ讃岐ノ琴平カラ池田間ハ、山脈ヲ御調ニナリマシタカ、望月君ハ何日御出ニナツタカト云フコトヲ聽カナケレバナリマセヌ、唯新道ヲ通ツテ見テ、ソレダケデ以テ此處ニナイト斷定サレテハ、其地方ノ者ハ感服スルコトハ出來マセヌ、ソレ故アルカナイカト云フコトハ必要デアル、是ニ代ユル線路ガアルカナイカト云フ程ノ理由モ私ハ見出サヌ、ソレニモ拘ラズ、尙ホ其線路ニ代ヘル線路ガアルヤ否ヤト云フコトヲ探究スルニ當ツテ、私共ハアルト断定スル事ガ出來ルノデアル、此線路ハ——琴平カラ少シ東ニ當ツテ、讃岐國造田川東ヨリ、徳島縣下重清村ニ通ル所ガ四國ノ山脈ノ一番小サイノデ寧口論ジテ見レバ高松カラ接續スル線路、川田ヘ往ク山脈ヨリモ尙ホ小サイト云フコトヲ聞イテ居ル、其線路ハ勝浦線路ト名ケル、此勝浦線路ヲ御調ベナスツタカ否ヤト云フト、鐵道局ニ於テモマダ其所モア調べテ居ラヌ、是ハ豫定線路デアル故ニ、十何箇年モ先キノ線路デアルカラ、マダ調べテ居ラヌノデアル、又一方ニハ琴平カラ栗井村ヲ通ツテ、而シテ阿波ノ三好郡ノ山城谷ヘ出テ、ソレカラ徳島カラ來ル線路ト接續スル所モアル、池田カラ高知

往ク分ハ諸君ハ御承知カ如何カ存ジマセヌガ、池田カラ高知ニ往ク間ニハ大ボケ小ボケト云フ有名ナ難所ガアル、殆ド猪ノ鼻ニモ負ケヌ難所ガアル、其難所ヲ此法案ニ依ツテ見ルト架ケルコトニナラヌテ居ル、是ガ出來ルカ出来ヌカト云フコトハ、若シ猪ノ鼻ガ出來ナイナラバ、是モ出來ル出來ヌカト云フコトハ、カヌケレバナラヌ、モウ一ツ進ンテ言フト、高知カラ松山ニ往ク線路ニ就イテモ、馬山ヲ越エルト云フコトモ隨分ムツカシキ所モアル、鐵道局ニ往ツテ聽イテモ、曰ク餘程困難ナ線路デアルト言フテ居ル、然ルニ一期ニ繰上ダナケレバナラヌト言フテ出シテ居ル、然ルニ其有名ナル大ボケ小ボケト云フ難所ヲ避ケテ、山城谷カラ高知縣ノ長岡郡杉村ト云フ所ニ出ルヤサシイ線路モアル、讃岐ノ琴平カラ西米井村、山城谷村ヲ經テ大ボケ小ボケノ裡面カラ杉村ヘ出デ、ソレカラ向フハ平坦テ容易ク高知迄往カレル線路ヲ發見シテ居ル者モアル、此方ハ工事が容易ク出來ルカラ私設ニシテモ引合フダラウト云フノデ、昨年來讃岐ノ人ト東京地方ノ人が發起ト爲フテ、現今其筋ニ願出デ居ル人モアルノデアル、其線路ハ徳島カラ俗ニ言フ山城谷テ接續スルコトモ出来、杉村テ接續スルコトモ出來ルノデアルガ、此線路ハ御調ベニナラカドウカ、鐵道局ヘ尋ネタラ、曰ク、調ベテ居ラナイ、ナゼ調ベヌカト言フト、豫定線路ダカラマダ手ヲ出ス違ガナイト云フ、斯ノ如ク線路ガマダ極ラヌト云フ、現ニ良イ線路ヲ見出シテ、是ガ宜カラウト見テ居ル線路ガニツモ三ツモアルニ拘ラズ、今之ヲ廢止シテ、此起點ヲ徳島ニ確定シナケレバナラヌト云フノハ、果シテ如何ナル意見デアルカ、審ニ池田カラ猪ノ鼻ガ困難ナルガ故ニ、斯ク變シナケレバナラヌト言ハレルノハ、實ニ國家百年ノ長計ニ關スル、國家百年ノ盛衰ニ關係スル所ノ鐵道線ヲ決スルニ方ツテハ、不親切ノ議案ト云フコトヲ憚ラヌノデアル、一度ビ可決スレバ後トテ良線路ヲ見出シテモ、其方ニ變換スルト云フノハ頗ル難イコトデアル、故ニ架ケルモノナラ十分ニ斯ノ如キ線路ガ出て居レバ、十分調査ヲシタ上デ是ガ宜イアレガ宜ト云フ選擇ヲシナケレバナラヌ、調査シナクテ如何ニ望月君が鐵道博士カラ知ラヌガ、未ダ一度モ歩ルイタコトモナイデ、良線がナイト断言スルコトハ出来ナイノデアル、ソレノミナラズ獨リ此軍事上ト云フ關係ニ於テハ、先年極ク短期ナ五月ノ會、二十一日デアツタ會期ノ時、其時ニ私が政府委員カラ聽イタコトモアル、政府ハ軍隊ノ國防上ニハ、四國ト大陸トノ關係ハ何處デ取ル積デアルト聽イタトキニ、今モ尙ホ政府委員デアル兒玉君が出席シテ答ヘラル、ニハ岡山縣下津井ト香川縣ノ丸龜デ聯絡ヲ取ルト言ハレタ、ソレ故ニ備中ノ倉敷カラ岡山縣ノ味野村マテ兒島鐵道ト云フモノヲ——輕便鐵道ト云フモノヲ願出タノヲ許可セズ、四國ノ國防ガ關係ガアルカラト云フノデ、本鐵道ニ直シテ許可ヲシタ位デアル、斯ノ如キコトヲ認メテ居リナガラ、ソノコトデアル、十二箇年先キノ問題ヲマダ研究モセズシテ、國防上ノ必要ガ

アルカラ徳島ニ持ツテ行ツテ極メナケレバナラナイト云フニ至ツテハ、何ノ理由デアルカ私共解スルコトガ出來ナイ、故ニ私ハ本議案ヲ次ノ會期マデ待ツテ貰ヒタイ、次期ノ會期マデ待ツテ、サウシテ能ク調査シテ貰ヒタイ

云フノデアル、決シテ此方ニ極メテ貰ヒタイト云フノデハナイ、斯ノ如キ線路ガ段々ト出テ居ルガ故ニ、調査ヲシテ貰ヒタイ、サウシテ愈々調査ヲシタ上デ出来ヌト云フナラバ承服スルガ、マダ見ナイト云フノダカラ、調べテ貰ヒタイト云フノデ、ワレヲ待ツコトガ出来ナイ、十二箇年先キニ架ケル鐵道ヲ、一年カ一年ノ間延スコトノ出來ヌト云フ皆ハナイ、十二年先キニ是ガ極タ上ハ百年モ動スコトガ出來ナイ鐵道ヲ、僅十箇月カ八箇月ノ間ノ調査ヲスル暇ガナシニ極メテシマハナケレバナラヌト云フ必要ガ何處ニアルカト云フコトヲ承リタインデアル、先ヅ總體ヲ言ヘバ斯ノ如ク、即チ線路ノ之ニ代ハルモノガアルノニ調査モセズ、今日之ヲ廢スルカ廢サヌカト云フコトヲ極メル必要ハナインデアル、琴平ノ起點ヲ徳島ニシナケレバナラヌト云フコトニ就イテハ、隨分議論ノアルコトナルニ拘ラズ、マダ其以外ニモ線路ガ二線路モ出テ居ルノニ、ソレフ調査セズシテ爰デ極メルト云フコトハドウシテモ承知ハ出來ヌノデアル、故ニ僅ノ間、即チ本年極ラウト、明年極ラウト、此工事ニ著手スルト云フ上ニ於テハ増減ガナインデアル、故ニ假スニ僅ノ日數ヲ以テシ、十分鐵道局テモ調査ヲ爲シ、望月君モ鐵道熱心テゴザイマス故ニ、ドチラガ宜イカト云フコトヲ調査ヲシテ貰ヒタイ、調査ヲセズシテサウ云フモノハナイ、サウ云フコトハ出來ナイト云フ斷定ヲスルニ至ラテハ、望月サンガ神サンナラ知ラズ、普通ノ人間ナラバ出來ナイノデアル、尙ホ仕舞ニ至ラシモウ長クハ申シマセヌガ、諸君モ御疲レデアリマスカラ長クハ申シマセヌガ、斯ノ如キコトデアルガ故ニ、此線路敷設法案中ニ於テ——他ノ線路ニ於テハ地方カラ御議論ガナイ以上ハ、諸君が見テ宜シトイ思フナラ、本員モ贊成ヲスルノデアルガ、此線路ニ於テハ望月君ハ鐵道博士カ知ラヌケレドモ、斯ウ云フ地方ニ關係シテ居ルコトハ地方ノ人ガ能ク知テ居ル、則チ常ニ山ニ往テ見テ能ク知テ居ルノデアル、故ニ此事ダケハ一言シテ置イテ、諸君ノ御参考ヲ煩ハサンケレバナラヌノミナラズ、終リニ至ラテチヨット簡単ニ一言申シテ置カナケレバナラヌノハ、申スマデモナイ諸君モ御承知ノ通、同志會デ拘ヘタ議案ハ、實ニ立派デ決シテ間然スル所ガナイニ相違ナイ、併ナガラ一面カラ見レバ、隨分同志會ト云フモノニ對シテハ如何カハ知ラヌガ、紛々タル世說ガ多イノデアル、其世說ノ多イノヲ私ガ攻撃スルノデハアリマセヌガ、此議案ヲ私ガ修正説ヲ出ス前ニモ、成ルベク此處デ肱ヲ張合シテノ議論ハ面白クナイカラ、望月君モサウ分ラヌ人デモナイト思フカラ、話ヲシタ所ガ、其時ノ答ニ甚ダ奇怪ノコトヲ言ハレタノデ、ワレヲ一言シナケレバナラヌ（モウ宣シイト呼フ者アリ）望月君ハ其事ハ同志會ノ幹事ニ相談シテ貰ヒタイト云フコトデアル、望月君ハ此議案ノ提出者デアル、其提出者ノ望月君ニ提出中ノ議案ニ就イテ相談ヲスルノニ、同志會ノ幹事ニ相談シテ吳レロト云フコトハ何ノ故デアルカ聽カナケレバナラヌ、何モ同志會ノ幹事ニ相談ヲスル必要ハナイ、幹事ノ提出シタ議案デナイ、即チ望月右内君外四十五名ノ提出デアル、然ルニ拙者ハ何ノ故ニ其外ノ同志會ノ幹事ニ相談ヲスルモ爲サラヌ、又容レルコトモ爲サラヌデ、一二三日御其時ニ全然反対スルモ爲サラヌ、

引張ニナツテ、其間ノ御話ハ鐵道同志會ト云フモノ、勢力ノ御話デ、鐵道ノ事ハ同志會ノ意見ニ依シテ如何ヤウトモ極マルノデアル、同志會テ極メレバ其通ニナルノデアルト、無暗ニ同志會ノ擴張ノ御話バカリデアツテ、贊成スルトモセヌトモ仰シヤラズ、ダラカ引張ヲレテ今月ニ至ラタノデアル、ソレガ本員等ニハ何ノ趣意ダカ分ラヌノデアル、出來ルトカ出來ヌトカ御返事ガアツテ然ルベキコトデアル、然ルニ同志會ノ勢力、鐵道ニ於ケル大勢力ノアルモノデアルト云フ御吹聴ノミヲ爲サルニ至ラテハ、自分ノ會社ノ善イヤウニ云ヒタイハ、人情デアルト云ヘバ人情カハ知レヌガ、私共ガ局外カラ見ルト、世間ノ紛々タル種々ノ風説ノ起ルノハ、是等ガ原因ニハアラズヤト思フノデアル、故ニマサカ此鐵道ニ贊成シテ居ル御方ハ、互ノ利益交換主義デ善イ惡ルイヲ問ハヌデ、自分ノ方ノ鐵道サヘ架ケルヤウニナレバ、御前ノ方モ贊成スルト云フ、交換主義ニ出テ居ルトハ信シマセヌガ、若シサウ云フタメニ慨嘆ニ堪ヘヌ譯デアリマスカラ、成ルベク公平ニ諸君ハ十分ニ精察熟慮セラレテ、イヅレガ宜イカ、惡ルイカヲ判斷スルコトヲ希望スルノデアリマス

○ 恒松隆慶君（二百七十二番） 討論終結
〔「贊成々々」ト呼フ者アリ〕

○ 議長（鳩山和夫君） 討論終結ノ動議ガ出マシテ、贊成ガアリマスカラ採決シマス、討論終結ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○ 起立者 多數

○ 議長（鳩山和夫君） 多數ト認メマス、本案ニ就イテ採決シマス、是ハ「明治二十五年法律第四號、鐵道敷設法中左ノ通改正追加ス第一章第二條四國線中第一項第二項ヲ左ノ如ク改ム」茲マデハ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ノ聲起ル〕

○ 議長（鳩山和夫君） 原案ニ決シタモノト認メマス、一項二項トモ削除ノ御意見ガ出テ居リマスガ、原案ニ就イテ採決シマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ來メマス

○ 起立者 多數

○ 議長（鳩山和夫君） 多數ト認メマス、二項、三項、四項、五項、六項ヲ同時ニ削除ノ方ガ多數ナラ「ハト云フ字ガ變ルト思ヒマス「四國豫定線ノ内云々」ヲ削ルト云フ、即チ綾井君ノ動議ハ、一項ノ削除説タカラ、原案ニ就イテ採決シマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○ 認長（鳩山和夫君） 多數ト認メマス、二項、三項、四項、五項、六項ヲ同時ニ削除致シマス
〔「異議ナシ」ノ聲起ル〕

○ 議長（鳩山和夫君） 異議ガナイカラ、原案ニ決シマス……次ニ委員會ノ修正意見トシテ、第八條、第九條ヲ加ヘルコトニナツテ居ル、委員會ノ修

○議長（鳩山和夫君） 御異議ガナイト認メマスカラ、之ニ決シタルモフト致シ
マス、讀會ハ省略セラレテ居リマスカラ、本案ハ確定致シマシタ、ソコデ御
報告申スコトガアリマス

〔田中書記官朗讀〕

貴族院ヨリ送付セラレタル議案左ノ如シ

海上衝突豫防法中改正法律案

田中正造君外四十六名提出ニ係ル公益ニ有害ノ鑛業ヲ停止セサル件ニ關ス
ル質問ニ對シ樺山内務大臣覆本農商務大臣ヨリ左ノ答辯アリ
衆議院議員田中正造君外四十六名ヨリ公益ニ有害ノ鑛業ヲ停止セサル件ニ
關スル質問ニ對シ内務農商務兩大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御回付候也

明治三十年三月十九日

衆議院議長鳩山和夫殿

内閣總理大臣伯爵松方正義

衆議院議員田中正造君外四十六名提出公益ニ有害ノ鑛業ヲ停止セサル儀ニ
關シ質問ニ對スル別紙答辯書差進候也

明治三十年三月十八日

内務大臣伯爵樺山資紀

衆議院議長鳩山和夫殿

農商務大臣子爵樺山資紀

衆議院議員田中正造君外四十六名提出公益ニ有害ノ鑛業ヲ停止セサル議

ニ關シ質問ニ對スル答辯書

第一 樺木縣上都賀郡足尾銅山鑛毒事件ハ明治二十三年以來數回ノ調査ニ
依リ渡良瀬川沿岸地ニ鑛毒含有ノ結果ヲ得タリ而シテ明治二十五年ニ至
リ鑛業人ハ仲裁人ノ扱ニ任シ正當ナル委任ヲ附托セラレタル沿岸町村被

害人民ノ總代トノ間ニ熟議契約ヲナシ其正條ニ基キ被害者ニ對シテ德義
上示談金ヲ支出シ且明治二十六年七月ヨリ同二十九年六月三十日マテヲ
以テ粉鑛採收器實效試驗中ノ期限トシ其期間ハ契約人民ニ於テ何等ノ苦
情ヲ唱フルヲ得サルハ勿論其他行政及司法ノ處分ヲ請フカ如キコトハ一

切爲サハルコトヲ鑛業人ト契約シ其ノ局ヲ結ヒタリ而シテ質問書中ニ謂
フ所ノ請願建議ハ該契約試驗期限満了後即ち昨年六月三十日以後ニ提出
セラタルモ本件ハ重大ニシテ且技術上最モ考究ヲ要スル問題ナルヲ以テ
政府ハ主任官又ハ技師ヲ派遣シテ粉鑛採收器ノ效果其他山林農業等ニ關

シ實際ノ情況ヲ視察調査セシメ必要ト認メタル豫防ノ方法ハ既ニ之ヲ鑛
業人ニ命令シ尙ホ進シテ其豫防ノ效果ヲ奏セシメンコトニ注意シツ、ア
リ決シテ之ヲ等閑ニ附シ去ルニアラス

第二 群馬縣邑樂郡渡瀬村外數村人民ヨリハ明治二十四年中鑛毒除害ニ關
スル請願書ヲ提出シタルト雖モ明治二十五年七月第一ニ記載シタル契
約ヲ鑛業人ト締結シ其請願事項ニ對シ示談整ヒタルニ依リ政府ハ之カ處

分ヲ爲サハリシナリ
第三 粉鑛採集ノ裝置ニ關シテ二十四年中鑛業人古河市兵備ヨリ「コロム
氏細粒跳汰器、新式エヴァン氏粉鑛採取器及ヒ圓淘盤ナル粉鑛採集器
二十餘臺ヲ米獨兩國ニ注文シ其來著以來之レカ据付ニ著手シ沈澱池ヲ設
ケ即チ第一ニ記載シタル契約ニ基キ紛鑛採收器ヲ設置シタル後渡良瀬川

ノ河流ニ注入スル沈澱池ノ廢水ヲ取り地質調査所ニ於テ之ヲ分折シタル
ニ左ノ成績ヲ得タリ

一、足尾本山ノ撲鑛所ヨリ沈澱池ニ注入スル廢水ハ其百分中固形物〇、一三
三〇六ヲ含ミ（即チ千分ノ一三三〇六）其中銅分ハ〇、〇〇一七一（即
十万分ノ一七一）ニ居ル而シテ沈澱池ヨリ河中ニ放流スルニ及ヒテハ固
形物ハ減シテ〇、〇一三一五（即一万分ノ一三一五）トナリ其中ノ銅分
ハ〇、〇〇〇〇四（即一千万分ノ四）トナル故ニ同沈澱池ニ由テ除却シ
得ル割合ハ固形物ニ於テハ九割零一厘一毛、銅分ニ於テハ九割八分五厘
二毛ナリ

一、小龍撲鑛所ヨリ沈澱池ニ注入スル廢水ハ其百分中固形物〇、二一九二六
(即千分ノ二一九二六) ヲ含ミ其中銅分ハ〇、〇〇〇三八(即チ十万分
ノ三八)ニ居ル而シテ沈澱池ヨリ河中ニ放流スルニ及ヒテハ固形物ハ減
シテ〇、〇一二〇四(即一万分ノ一二〇四)トナリ其中ノ銅分ハ〇、〇〇〇
一五(即百万分ノ一五)トナル故ニ同沈澱池ニ由テ除却シ得ル割合ハ固形
物ニ於テハ九割四分五厘一毛銅分ニ於テハ九割六分〇五毛ナリ

然レトモ爾來尙ホ引繼キ渡良瀬川沿岸地ニ鑛毒ノ被害アルハ主トシテ舊
時ヨリ該川流域中ニ沈澱散布シタル泥砂粉鑛ノ河水ノ氾濫ト共ニ流域以
外ニ溢出シタルト又既ニ沿岸田畠ニ浸入シタル粉鑛ノ存在トニ基ケルモ
ノト認ム

第四 粉鑛採收器設置以來鑛毒流出ノ減少シタルコト第三ニ述ヘタルカ如
シ然レトモ尙ホ沈澱池ヨリ河流ニ注入スル廢水中残餘ノ固形物ヲ排除ス
ルノ目的ヲ以テ更ニ沈澱池ヲ擴大ニスルコト又坑木中ニ溶解セル金屬鹽
類及硫酸ヲ除却スルノ目的ヲ以テ新ニ石灰乳ヲ坑水ト混和シ之ト化合沈
澱セシムルノ方法ヲ設備スルコト又鑛山ノ廢物タル捨石、洗砂、鑛滓等
河身ヲ填塞スヘキモノハ洪水ノ際ニ於テモ流出ノ憂ナキ安全ノ地ニ堆積
シ其他ノ場所ニ放棄スルコトヲ禁止スルコト等凡テ豫防ノ方法ヲ鑛業人
ニ嚴達シ爾來益々鑛毒流出ノ豫防ヲ講究セルヲ以テ政府ハ敢テ之ヲ默視
シタルニアラサルナリ

第五 田中正造君ヨリ明治二十五年六月十三日提出セラレタル質問書ハ其
成規ノ手續ヲ經テ同月十五日農商務省ニ於テ之ヲ接收セシモ帝國議會閉
會後ナルヲ以テ之レカ答辯ヲ爲スコト能ハサリシナリ尤モ地方官ニ於テ
被害地人民ヲ欺瞞シ人民提出ノ請願書ヲ遮リ強テ事實ヲ蔽ハントシタル
カ如キコトナシ

第六 政府ハ地方官ニ於テ壯丁出陣ノ不在ヲ窺ヒ日々被害町村ニ出沒シ老
幼ヲ威嚇シ以テ自己隨意ノ契約證ニ盲印セシメント云フカ如キ非行ヲ
爲シタル事實アルヲ認メス隨テ地方官ニ對シ何等ノ處分ヲモ爲サス

第七 田中正造君ヨリ明治二十九年三月二十二日提出セラレタル質問書ハ
其成規ノ手續ヲ經テ三月二十七日內務省ニ於テ之ヲ接收セシモ其翌二十
八日帝國議會閉會ニ際シタルヲ以テ遂ニ之レカ答辯ヲ爲スコト能ハサリ
シナリ尤モ政府ハ既ニ第六ニ陳述シタルト同シク當時地方官ニ於テ非行
ヲナセシ事實アルヲ認メサルノミナラス爾來今日ニ至ルモ非行ヲナスガ
如キ事實ハ更ニ之ヲ認メス

第九 足尾銅山近傍ノ官林ニ付テハ明治十四年以來永遠不盡ノ輪伐計畫ヲ立テ年々區域ヲ定メテ其立木ノ拂下ヲ爲セリ然ルニ其伐木跡地ハ頻年

野火ノ侵害ヲ受ケ爲ニ母樹及殘根ヲ燒失シ豫定ノ林相ヲ成立スル能ハサ

ル個所妙カラサリシニ依リ二十七年度以降ハ水源涵養ニ關係ナキ枯損木等ヲ拂下クルノ外輪伐施業ヲ廢止シ力メテ火害ノ防衛ト稚苗發生ノ擁護

トニ注意シ一方ニ於テハ鑛業人ヲシテ自費植栽ヲ爲サンメ政府ニ於テモ經費ノ許ス限り植栽ヲ行ヒタルモ未タ完全ナル效果ヲ收ムルニ至ラス尙

水造林準備水源ノ涵養山林ノ繁殖ニ就キテハ之カ注意ヲ怠ラサルナリ第十 洪水ニ際シ渡良瀬利根兩川ノ堤防往々崩潰セシコトアルモ是レ主トシテ其水路ニ於テ洪水量ニ對スル流積不足ノ箇所アルカ爲メニシテ土質ノ變化ニ就テハ今日ノ狀況未タ危險ノ切迫セルニ非ス尤モ政府ハ漸次之カ改良ヲ加フルノ注意ヲ怠ラサルヘシ

第十一 政府ハ專ラ鑛毒ノ流出浸漬ヲ防止シテ鑛毒ヨリ生スル弊害ノ本源ヲ杜絶スルコトヲ力メ且調査講究ノ結果必要ト認ムル豫防方法ハ之ヲ鑛

業人ニ命令スルヲ以テ敢テ之カ監督ノ任務ヲ怠ラサルナリ

第十二 鑛毒被害ノ原因ニ對シテハ第十一ニ陳述スルカ如ク鑛業監督上豫防方法ヲ設定勵行セシメ尙ホ鑛毒等ヨリ生シタル町村共有一地ノ損害ハ第

一ニ記載シタル契約第五條ニ依リ更ニ明治二十六年七月ヨリ起算シ猶將來ニ付臨機ノ協議ヲ遂ケ別段ノ約定ヲ爲スカ若クハ民法上自ラ救濟ノ途アルアレハ之ニ依ルノ外ナカルヘク又行政ノ範圍内ニ於テ救濟スヘキモノハ政府ニ於テ充分其便益ヲ與フルニ怠ラサルヘシ

第十三乃至第十六ハ第十二ノ答辯ニ依リ自ラ明ナルヘシ

第十七 鑛業ノ停止ハ法律ニ依ルヘキモノナルコトハ論ヲ歎タスト雖モ本件ノ鑛業ヨリ生スル被害ノ程度ハ果シテ鑛業條例第十九條ノ場合ニ適合スルヤ否ハ第四ニ續述セシ豫防手段ノ時ヲ經テ效果如何ヲ確認シタル上ニアラサレハ未タ遽カニ斷言スル能ハサルナリ

第十八 本件ハ本邦ニ於ケル鑛業ノ發達ニ伴ヒ將來各地方ニ起ルヘキ必然ノ事件ニシテ國家經濟上頗ル重大ナル問題ナリ獨リ足尾銅山ノ問題トシテ之ヲ視ルヘキモノニアラス依テ政府ハ將來鑛業ト農業ト衝突スル場合ニ適用スヘキ方針ヲ確定スルノ必要ヲ認メ之ニ關スル各般ノ調查ヲ命シ

彼此熟考シテ之カ處分ノ方法ヲ定メント欲ス尤モ是迄其調査ノ結果トレテ今日之ヲ足尾銅山ニ實施セシムヘキ要件ハ既ニ之ヲ嚴達勵行セシメタルモ向後ニ於ケル處分如何ノ如キハ今日ニ於テ尙ホ未タ決定シ得ルノ期右及答辯候也

明治三十年三月十八日

内務大臣伯爵樺山資紀

農商務大臣子爵榎本武揚

高橋小十郎君

○高橋小十郎君(二百六十四番) 本案ノ委員會ノ經過ヲ御報道致シマスガ、簡單デゴザイマスカラ此處デ御報道致シマス、本月十日ノ第一回ニ委員長理事ノ互選ヲ行ヒ、委員長ニ私が當選致シマシタ、理事ニ板東勘五郎君が當選セラレマシタ、第二回ニ於キマシテ大體ノ質問ヲ了ヘマシテ、第三回ニハ大體ニ於テ本案ヲ採用スペキモノト議決シマシタ、第四回ニ於キマシテ多數ヲ以テ修正案ヲ可決致シマシタ、就キマシテハ修正案ハ諸君ノ御手許ニ相団セラレマシタ考ヘマスカラ、修正ノ巨細ハ此處デ申上グマセヌ、諸君ニ於キマシテモ此肥料ニ他ノモノヲ混和シテ販賣スルモノ日増シニ多々アリマシテ、其弊害實ニ少ナカラザルコトハ御承知ノ通デ、肥料取締法案ノ必要ナルコトハテ居ルト考ヘマスカラ、修正ノ巨細ハ此處デ申上グマセヌ、諸君ニ於キマシテモ此肥料ニ他ノモノヲ混和シテ販賣スルモノ日増シニ多々アリマシテ、其弊害實ニ少ナカラザルコトハ御承知ノ通デ、肥料取締法案ノ必要ナルコトハ論ヲ俟タザルコト、信ジマズ、故ニ委員會ニ於キマシテモ審查ヲ十分ニ盡シ、政府委員トモ數回質問應答ヲ遂ゲマシテゴザイマス、諸君ニ於キマシテモ何卒御賛同アリ速ニ可決アランコトヲ希望致シマス

○草刈親明君(百四十四番) 少數——少數デハナイ定足數ニ……
(「アル」と呼フ者アリ)

(「アル」と呼フ者アリ)

○草刈親明君(百四十四番) アルナラバ是カラ反対致シマス、此案ハ誠ニ珍シキ案ト申シマスカ、不思議ナ案ト申シマスカ、マヅイ案ト申シマスカ、免ニ角此議場デ嚴メシク反対スルナド、申スハ餘り好マスコトデハゴザイマスケレドモ、サリナガラ之ヲ提出セラレタ人ハ、農ハ國ノ本アル、肥料ハ農ノ本アルト云フ考デ御出ニナシテ、隨分大事ナ法案ト御考ニナシテ居ルト思ヒマス、私ハ是ニ反シテ斯ノ如キ事柄マデモ法律ヲ制定シテ國家ガ干渉スベキモノデハナイ、斯様ニ信ジマス、肥料ヲ製造スル方法ニ就イテ、法律ヲ制定シテ國家ガ干涉シ、若シ是ニ違反スルモノガアルナラバ、處スルニ刑罰ヲ以テスルト云フニ至ラテハ實ニ弊ノ波及スル所大ナルモノデゴザイマステ此理由ニ書イテアル弊害ニ比シテ百層倍ナル害ヲ、社會ニ流スノアルベキモノデハナイ、斯様ニ信ジマス、肥料ヲ製造スル方法ニ就イテ、法律ヲ制定シテ國家ガ干涉シ、若シ是ニ違反スルモノガアルナラバ、處スルニ刑罰ヲ以テスルト云フニ至ラテハ實ニ弊ノ波及スル所大ナルモノデゴザイマス(「贊成々々」と呼フ者アリ)此案ヲ見マスルニ(「分ッタカラヨシ給ヘ」ト呼フ者アリ)先づ肥料ト云フモノハ(「討論終結」と呼フ者アリ)免ニ角検査官ノ検査ヲ受ケナケレバナラヌ、検査官ノ検査ヲ受ケルト云ヘバ、斯ノ如キ肥料ノ製造ニ對シテモ澤山ナル官吏ヲ拵ヘテ月給ヲヤラナケレバナラヌ、ルト云フ百姓ハ、人造肥料ト云フ名ヲ知ルト共ニ、最早其善惡是非ヲ區別スルダケノ智識ヲ有スルモノデアリマシテ、決シテ肥料ニシテサウシテ却テ害ヲ流スガ如キ、肥料ヲ使用スルモノハナイト申シテモ宜シカラウト思フ、サリナガラ若シ實際ニ於テ弊害ガゴザイマシタナラバ、其地方限テ命令ナリ、省令ナリ、訓令ナリヲ以テ取締レバソレデ宜シ、百姓ガ肥料ヲ擔グニ依

テ、ソレヲ此堂々タル國家ヲ代表スル衆議院ガ——帝國議會ガ法律ヲ持ヘナ
ケレバナラヌト云フヤウニ相成リマシタナラバ、實ニ法律ノ製造ノ弊ト云フ
カ、濫造ノ弊ト云フカ、私ハ甚ダ恐レザルベカラザルモノト信ジテ居リマス、
願クハ斯ノ如キ感情ニ驅ラレ、且又國費ヲ費シテ、サウシテ餘り面白クナイ法

律ト云フモノヲ持ヘナイヤウニ諸君ハ御注意アランコトヲ希望致シマス

〔採決〕「討論終結」ト呼フ者アリ

○福田久松君(百五十番) 長イコトハ決シテ申サヌノデス、草刈君ニモ似合
ハヌコトヲ申サレマスカラ一言申上ゲテ置キマス、斯ウ云フコトヲ法律ニ定
ムルト云フコトハ怪シカラヌコト、言ハレマスガ、凡ソ世ノ中二人間ノ爲ス
ベカラザルコトヲ爲シタナラバ、ソレヲ取締ルト云フ法律ヲ持ヘルノハ當リ
前デアル、現ニ亞米利加ノ如キハコンナモノデハナイ、立派ナ法律ガ施行シ
ナルト云フコトデアル、殊ニ英吉利ノ如キ草刈サンノヤウナ放任主義ヲ執ツ
テ居ル國デサヘ、矢張斯ウ云フコトガ出來テ居ル、我國デ珍シクヤルノデハ
ナイ、又省令デヤルガ宜イト言ハレマスガ、決シテ省令デヤルベキモノデハ
ナイト思フ、何トナレバ免ニ角人ノ營業ヲ多少檢束スル大事ナモノデアル、
無暗ニ斯様ナ大事ナコトヲ省令デ檢束スルト云フコトハ、決シテ省令デナス
ベカラザルモノデゴザイマス、又當局者モ其事ニ就イテハ其論モアツタガ、
決シテ省令デハ斯様ナコトガ出來ヌト云フノハ明言シテ居ルノデゴザイマ
ス、又モウ一つ申上ゲマスノハ、決シテ長クハ申シマセヌガ、斯ウ云フコト
ヲスルト金ガ要ル、官吏ガ要ルト言ハレマスケレドモ、草刈サンハマダ此議
案ヲ見ナイデアル、此議案デハ決シテ官吏ヲ殖スコトモ要ラヌ、一々検査ヲ
スルト云フコトモ要ラヌ、時ニ弊害甚シキヲ認メタナラバ、時ニ臨檢スルニ
止マル、決シテ官吏ヲ殖シ費用ヲ殖ヤスナド、云フコトハナイ、或ハ前ニ私
ガ提出シタ案デモ御讀ミニナツテ居リハセヌカト思フ、諸君、草刈君ニモ似
合ハザル議論ト思ヒマスガ、ドウモ此議案ト云フモノハ、農業國ニ多少ノ利
益ノアル——デハナイ、重大ナ利益ガアラウト考ヘテ居リマス、ドウカ通過
セラレンコトヲ希望致シマス、尙ホ又はハ讀會省略シテ戴キタイト云フコト
ヲ、私ハ序ナガラ望シテ置キマス

○議長(鳩山和夫君) 採決致シマス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メ
ス

起立者 少數

○議長(鳩山和夫君) 少數ト認メマス——三分ノ二ニ足ラヌト認メマス、本
案ニ讀會ヲ開クベシトスル方ノ起立ヲ求メマス

○議長(鳩山和夫君) 少數ト認メマス、日程第六、明治二十二年法律第五十
號民事訴訟法施行條例中削除法律案

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經ナルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）

明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行條例中削除法律案

三十一日限り廢止ス

（中島又五郎君演壇ニ登ル）

○中島又五郎君(二十四番) 明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行條例
中削除法律案ニ就キマシテハ、諸君モ御存ジデアラウト存ジマスカラ、簡單
ニ一言提出ノ理由ヲ述ベテ置キマスガ、此施行細則ニ於キマシテ、當分ノ中
民事ノ上告ヲ致スモノニハ、上告金十圓ヲ納メサセルト云フコトニナツテ居
リマス、是ハ當分ノ中ト云フノガ、明治二十三年ノ法律ニゴザイマスルガ、
最早今年マデ數年ヲ經過致シテ居リマスルガ、未ダ民事上告ノ十圓金ヲ納メ
ナケレバナラヌト云フコトノ法律ヲ解イテナイ、未ダ存在シテ居リマスル、
元トスウ云フ法律ノ出來マシタ所以ハ何デアルカト言ヘバ、僅ニ五圓、十圓、
若クハ五十圓ト云フ位ナ民事ノ訴訟デ、北ハ北海道ノ端カラ、青森又南ハ鹿
兒島、長崎等ノ邊カラ東京ノ大審院マデ訴ヲ起サケレバナヌ、誠ニ些細
ナ事件ノタメニ、大審院マデ出ルニハ餘程鄭重ヲ要セバナラヌト云フタメ
ニ、多少考案ヲ要スルダメニ、防禦的ニ十圓ノ納金ヲサセタモノデゴザリマ
スルガ、其後各地方ニ控訴院ガ澤山出來マシタ、即チ百圓以下ノ事件ナレバ、
直チニ控訴院ニ上告スルト云フコトガ出來ルノデアルカラ、前ノ目的トハ大
イニ事情ガ異シテ居リマス、殊ニ民事ノ原裁判ヲ受ケマシタ其誤ラ正スト云
フコトニ就イテハ、是ハ人民ノ私權ヲ擴張スルニ最モ大事ナコトデアル、ソレ
ヲ十圓ノ金ヲ——僅カ五圓若クハ十圓位ノ訴訟ノ誤判ヲ正サンガタメニ、
上告ヲスルニ十圓ノ金ヲ納メナケレバ上告が出來ヌト云フコトハ、細民ナド
ガ上告ヲスル場合ニ於テ甚ダ困難ヲ致シ、遂ニ我權利ヲ拋棄シナケレバナラ
ヌト云フ場合ハ往々ゴザイマス、現ニ昨年ノ統計ニ依ツテ見テモ、所謂百圓
以下ノ事件ニシテ控訴院ノ判決ヲ取消サレテ破棄ニナツタノガ百九十五件アリマス、棄却ガ二
百七十七件ゴザイマス、ソレヲ百件ノ中ドウナルカト見ルト、百ノ中ニ破棄
ニナツタノガ四十一件五分餘デゴザイマス、斯様ニ誤ノアルモノナレバ、十圓
金ヲ納メルコトガ出來ヌタメニ、此權利ヲ拋棄スル者モ多々アル、實ニ其者
ニ對シテハ氣ノ毒千万ナコト、考ヘマス、故ニ斯様ナ例ヲ今日殘シテ置ク
必要ハゴザイマセヌ、殊ニ道理カラ言フテモ無論上告ノ道ヲ塞グルト云フコ
トハ甚ダ不都合千万ト考ヘマス、故ニ民事訴訟法施行條例中一番ノ末項、當
分ノ内之ヲ存在シテ置クト云フ簡條ハ刪除シナケレバナラヌモノト信ジマ
ス、尤モ此上告金ヲ廢スルコトニ就イテ政府委員ニモ尋ねマシタガ、政府ニ
於テハ格別之ニ對シテ異論ハナイト云フコトデアリマス、是ハ昨年モ當議院
ヲ通過致シ、一昨年モ全會一致ヲ以テ通過ヲシタ議案デアルニモ拘ラズ、貴
族院ニ於テ否決サレタコトガゴザイマス、ナゼ貴族院ニ於テ否決サレタカト

云フト、其原因ヲ此速記録ニ依シテ見ルト、其時ニ出シタノハ獨リ民事バカリ
デナク、刑事上告ニモ尙ホ上告金ヲ納メヌデ宜、イト云フコトヲ合シテ出シ
マシタ所ガ、刑事ニ於テハ重罪ノ刑ヲ受ケレバ、一日デモ長ク刑ニ就クノガ
イヤデゴザイマスカラ、理窟ガアルニモナイニモ必ズ上告スルト云フ弊ガ
アル、ソレヲ防ガシタメニ刑事ノ控訴ニ於テハ——刑事デハナイ、控訴ニ於
テ控訴豫納金ヲサセルト云フコトガアリマシタ、同時ニ出シマシタモノ故、
其理由カラ遂ニ民事モ併テ否決サレマシタヤウナ工合デ、刑事ノコトニ於キ
マシテハ、提出者モ多少考ヘルコトガゴザイマシタ故、今般ハ刑事ノ方ハ出
シマセヌ、獨リ民事ダケハ上告ヲ致スノニ、十圓ト云フ上告金ヲ納メナケレ
バ、上告ガ出來ヌト云フコトハ、如何ニモ不都合ノコト、思ヒマスカラ、ド
ウカ第八議會モ、第九議會モ、満場一致ヲ以テ可決致シマシタ譯デゴザイマ
スカラ、極ク簡単ナモノデアリマスカラ、讀會ヲ省略シテ、直チニ即決ノ御
可決アラレコトヲ希望致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 読會省略ノ動議ガアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 御異議ハナイト認メマス、即チ讀會ハ省略セラレマシ
ム、——本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行條例中 削除法律案(中島又五郎君外十八名提出)
第七 牛痘苗製造業者處分ニ關スル建議案(脇坂行三君外三名提出)
(左) 議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス

○議長(鳩山和夫君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ是デ可決確定致シマ
シム、日程第七

牛痘苗製造業者處分ニ關スル建議案
本院ハ曩ニ第九議會ニ於テ官立痘苗製造所設置ヲ可決シタル上ハ民間ニ於
ケル痘苗製造營業者ニ對シテ相當ノ處分ヲ施シ扶濟ノ道ヲ立ツルハ政府當
然ノ責務ナリト認メ之カ建議ヲ爲セリ然ルニ十數月ヲ經由セル今日ニ至ル
モ未タ何等ノ處分ヲ爲サルハ甚失當ノ舉措ナリト信ス依テ政府ハ速ニ之
レカ扶濟ノ處分ヲ完クセムコトヲ望ム
右及建議候也
(脇坂行三君演壇ニ登ル)

○脇坂行三君(三十六番) 極ク簡単ニ述ベマス、本案ハ第九議會ニ於キマシ
テ、本議會ハ滿場異議ナク通過ヲ致シマシタコトデゴザイマスカラ、別
段ニ十分ノ此陳述ヲ致シマセヌデモ、諸君ハ御承知ノコトデアラウト思
ヒマスガ、併ナガラ本年モ亦之ヲ提出致サナケレバナラヌト云フ必要ニ
迫リマシメコトダケラ、單簡ニ申述ベル積デアリマス、元來此牛痘苗ト云

フモノハ、諸君ノ御承知ノ如ク、天然痘豫防ノタメニハ、最モ必要ナモノ
デアリマスルガ、昨年ノ議會ニ於キマシテ、豫算案ヲ——既ニ牛痘苗製造ノ
コトハ、官設ニナルコトニ決定ヲ致シマシタ限ハ、民間ニ是マデ五十九箇所
ト云フ牛痘苗製造業者ハ、同時ニ之ヲ禁止スルノ目的デアラタノデアル、ソ
レ故ニ民間業者ハ、既ニ明治十九年ニ於キマシテ此牛痘苗製造ノコトハ、官
ヨリ十分ニ獎勵ヲ致シマシテ、民間ニ營業ヲ營マシテアラタニモ拘リマ
セズ、之ヲ禁止スルト云フ場合デゴザイマスル、然ル
ヲ是マデ致シテ居リマシタモノデアリマスカラ、之ニ扶濟ノ途ヲ立ネバナ
リマスマニ、サウ致シマセネバ行カヌト云フコトデアラツテ、昨年建議案ヲ提
出致シマシテ、満場一致ヲ以テ、諸君御決議下サツタ譯デアリマスル、然ル
ニ其以來、未ダ官ニ於キマシテハ、民間ノ痘苗製造ヲ禁止モ致シマセズ、而
シテ處分モ致シマセヌ、其結果ハドウナツテ居ルカト申シマスルト、官設
デ痘苗ヲ賣捌キマスニハ、代價ガ一具五錢ト云フコトニナツテ居ル、民間デ
是マデ賣捌イテ居リマス牛痘苗ハ、十五錢カラ十八錢ヲ要求セヌト營業ニナ
ラヌト云フ譯デアラタノフ、官設ニナツタガタメニ、官設ノ賣ル代金ハ詰リ
五錢ト云フコトデアルト、到底民間ノ營業者ハ營業ニナラヌ、利益ヲ得テ
テナイカラ、矢張民間ニモ痘苗ヲ製造シテ居ルノデアリマス、元來牛痘苗ガ
傳染豫防ノタメニ、最モ大切ナモノデアルト云フコトデ、官ニ於キマシテ、
粗惡濫造ヲ防ガナケレバナラヌト云フノデ、官設ニナツタノデアル、ソレニ
モ拘ラズ之ヲ禁止モシナシ、而シテ政府ノ意向ヲ確メテ見マスルト、禁止
スルノ理由ガナシ、詰リ是マデ官ノ方カラ獎勵シマシテ、民間業ヲ營マシテ
居タノデアリマスカラ、此者ヲ營業ヲ禁止スルト云フコトヲ、過日豫算委員會ニ於
テ、政府委員ガ申シテ居タ、攻究シテ居ル場合ダニ依シテト云フノデアリ
マスケレドモ、既ニ昨年ノ七月以來、官設ノ痘苗製造ヲ致シテ居ルノニ、十
數箇月モ經テ居リマスノニ、マダ攻究中デアルト云フテ、等閑ニ付シテ居ル
ノハ、甚ダ不都合デアルト思ヒマスカラ、故ニ禁止スベキモノナラ速ニ禁
止シテ濟フモノナラ相當ノ扶濟ノ途ヲ立テ、處分スルト云フコトニナラン
ケレバナラヌト思ヒマス、故ニ已ムヲ得ズ、此議會ニ於テ再度建議案ヲ提出
致シマシタ譯デアリマス、諸君ニ船カセラレマシテモ、昨年ノ如ク、満場異
議ナク通過セシメラレンコトヲ希望致シマスノデアリマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)
○議長(鳩山和夫君) 採決シマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
起立者 多數
○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス——次ノ日程ニ移リマス
○田中正造君(三十五番) 議長

○草刈親明君（百四十四番） 第八ヨリ第十マズ、併テ議シタイト思ヒマス
○恆松隆慶君（二百七十二番） 七十名位シカ居リマセヌ
○議長（鳩山和夫君） 然ラバ點檢シテ見マス——恒松君カラ定足數ニ就イテ
注意ガゴザイマスカラ、點檢シマス

○議長(鳩山和夫君) 定足數ガナイト認メ マスカラ、今日ハ是デ延會ヲ致シ
(書記官出席議員ノ數ヲ點検ス)

1

○田中正造君(三十五番) 議長

卷八

○議長(鳩山和夫君) モウ延會元アリマスから
○田中正造君(三十五番) 私ハ御宣告ノナイ前カラ申シテ置キマシタ
○議長(鳩山和夫君) 次ノ日程ハ書面ヲ以テ御通知致シマス

衆議院議事速記錄第一二二號正誤

三八二 頁 上段 一七 行 所有 誤 私有 正

104

衆議院議事速記錄第一十七號正誤

四 七 一 二	下 三 八 手	下 行 本 形 換	段 行 限 換	頁
四 九 二	四 八 此 邦	日本 銀行 引 換	正 誤 別 格	正
四 七 三	四 三 此 邦	日本 銀行 引 換	正 誤 別 格	正
四 七 一 二	下 三 八 手	下 行 本 形 換	段 行 限 換	頁

10

明治二十五年三月三十一日遞信省認可（二〇）印刷局自願